

根室市公共施設等総合管理計画

個別計画

平成 29 年12月策定

令和 6 年 1月改訂

根 室 市

余白ページ

目 次

1 計画の目的等.....	1
1-1 個別計画策定の目的.....	1
1-2 個別計画の位置付け.....	1
1-3 個別計画の期間.....	2
2 個別計画.....	3
2-1 市民文化関連施設.....	4
2-2 社会教育関連施設.....	7
2-3 スポーツ関連施設.....	10
2-4 レクリエーション施設.....	12
2-5 産業関連施設.....	15
2-6 学校教育関連施設.....	18
2-7 子育て支援施設.....	23
2-8 保健福祉関連施設.....	25
2-9 医療施設（診療所）.....	28
2-10 本庁舎施設.....	29
2-11 消防施設.....	31
2-12 その他行政関連施設.....	34
2-13 市営住宅.....	37
2-14 公園施設.....	40
2-15 供給・処理施設.....	42
2-16 移住体験住宅.....	46
2-17 その他施設.....	47
2-18 病院関連施設（病院会計）.....	51
2-19 上水道施設（水道会計）.....	53
2-20 下水道施設（下水道会計）.....	56
2-21 インフラ施設.....	57

3 施設方向性別一覧.....	60
3-1 新築・改築施設.....	60
3-2 大規模改修施設.....	62
3-3 移転・複合化施設.....	64
3-4 廃止・解体施設.....	65
4 第2期対象施設一覧.....	67
4-1 第2期スケジュール.....	67
4-2 検討結果一覧（第2期）.....	69

1 計画の目的等

1-1 個別計画策定の目的

本市では、財政状況が厳しさを増す中、インフラを含む公共施設の多くが、完成後30年以上を経過し老朽化が着実に進んでおり、施設の老朽化がこのまま進めば、倒壊等、人命に関わる甚大な被害につながる危険性が高まることから、市民に安心・安全な施設サービスを提供する上で、適切なタイミングで改修・更新（建替）を行うことは、重要な行政課題となっています。

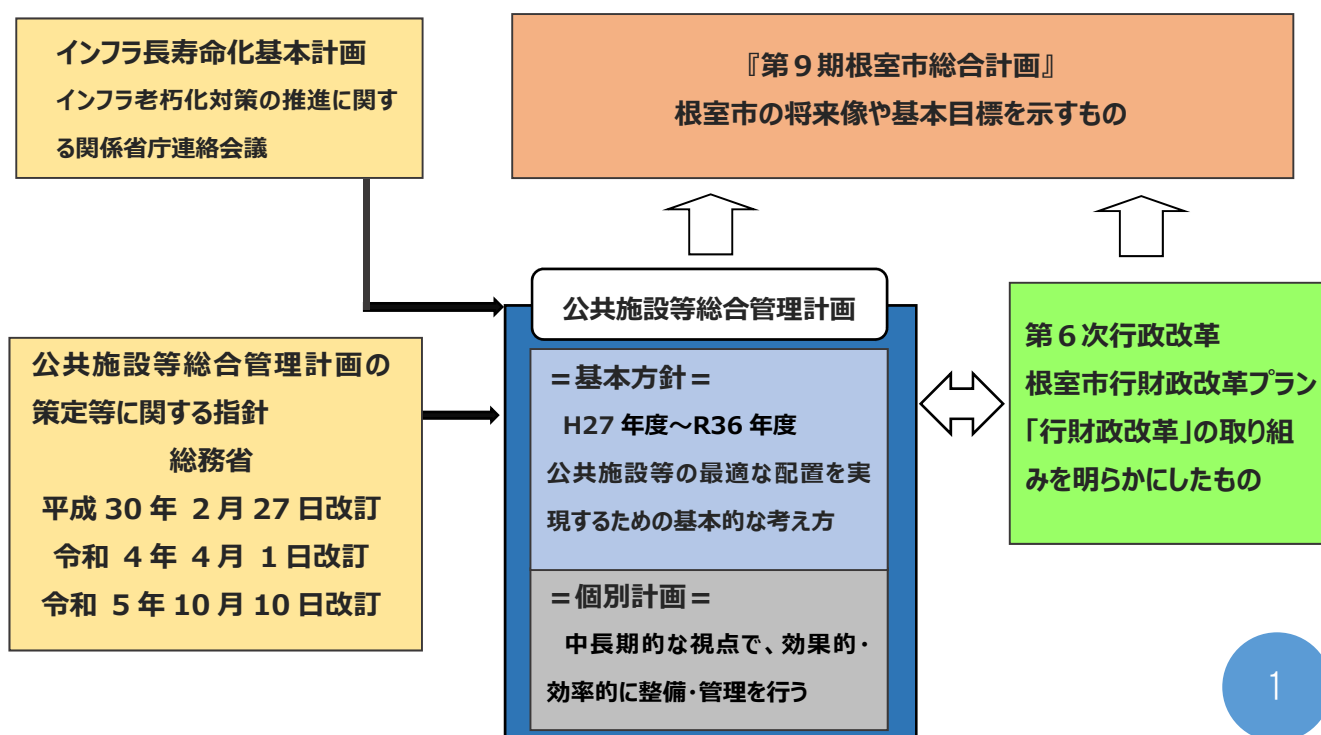
今後、これらの公共施設は、更新時期を迎えていくこととなり、その経費は膨大な財政負担を伴うため、更新にあたっては、単に公共施設の廃止・縮小を推進するのではなく、施設の複合化等によって機能の充実を図ることなども含め、ライフサイクルコストの圧縮や必要な公共施設の長寿化を図るとともに、中長期的な視点で、効果的・効率的に整備・管理運営を行うことで、市民が安心・安全で持続的に公共施設を利用できるよう計画的に投資することが重要となります。

本計画は、将来を見据え、より効果的・効率的なサービスを提供するなど、公共施設のあり方について考え、将来の子ども達の負担とならないように、新しい時代にあった公共施設に再構成することを目指すものです。

1-2 個別計画の位置付け

本市では、平成26年4月に総務省から示された「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」に基づき、公共施設等の一体的なマネジメントの方針をまとめた「根室市公共施設等総合管理計画基本方針」（以下、「基本方針」という。）を平成27年12月に策定しました。

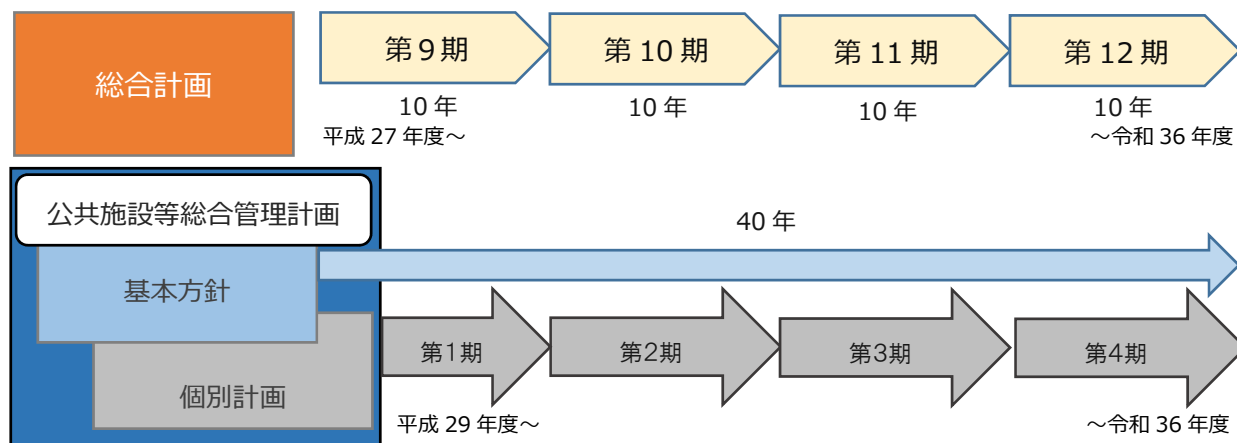
個別計画は、本市の最上位計画である「第9期根室市総合計画」を下支えする計画であり、「第6次行政改革」と連動して、各政策分野の中で施設面の取組みに関して、分野横断的な視点も踏まえ指針を提示し、財政収支を意識した事業化を図るための計画として策定するものであり、基本方針と個別計画をもって、「根室市公共施設等総合管理計画」とするものです。



1-3 個別計画の期間

本計画は、公共施設の耐用年数が数十年に及ぶため、長期的な視点が不可欠であり、平成29年度を始期とし、最上位計画である「第9期根室市総合計画」に即した個別計画であることから、令和6年度までを第1期とし、以降、10年ごとに第2期、第3期及び第4期に分け、最終年度を令和36年度とする38年間とし、期毎に方向性を示します。

なお、計画期間中は、国の経済動向や市の財政状況、制度変更など計画を見直す必要が生じた場合、適宜見直しを行うこととします。



2 個別計画

【施設の方向性】

新築・改築	： 新築 ・新たに建物を建てるもの 改築 ：建物の全部または一部を新しくつくりなおすもの
大規模改修	：建物に対し大規模改修（主要構造部の過半以上の改修）事業を実施するもの 若しくは、主要構造部において、3,000 万円以上の工事が見込まれるもの
廃止・解体	： 廃止 ・施設の現用途の廃止を行うもの 解体 ・建物に対し解体を実施するもの
継続・維持	：維持補修等により施設を継続使用するもの
耐震改修	：建物に対し耐震改修事業を実施するもの
移転・複合化	： 移転 ・他の土地、建築物への移動を行うもの 複合化 ・別々の用途の施設を一つの建築物に集めるもの、同一用途の施設を一つの建築物に集める集約化も含むもの
検討・協議	：施設のあり方等の検討や外部等との協議、調整を要する施設

【建物構造】

構 造		法定耐用年数	
W造	木造	事務所用等	24年
		住宅用等	22年
RC造	鉄筋コンクリート造	事務所用等	50年
		住宅用等	47年
S造	鉄骨造	事務所用等	38年
		住宅用等	34年
SRC造	鉄骨鉄筋コンクリート造	事務所用等	50年
		住宅用等	47年
B造	ブロック造	事務所用等	41年
		住宅用等	38年
CB造	コンクリートブロック造	事務所用等	41年
		住宅用等	38年
RCB造	鉄筋コンクリートブロック造	事務所用等	41年
		住宅用等	38年

2-1 市民文化関連施設

市民文化関連施設の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
集会施設	初田牛会館	直営		110.14	昭和52年	W造
	和田会館	直営		65.00	昭和35年	W造
	落石会館	直営		776.35	平成29年	W造
	花咲港会館	直営		708.43	令和4年	W造
	厚床会館（公民館分館）	直営		827.64	昭和55年	W造（一部S造）
	温根沼会館	直営		820.07	平成6年	W造（一部S造）
	歯舞会館（支所・公民館分館）	直営	○	1,519.95	平成12年	R C造
文化施設	総合文化会館（公民館）	直営		7,232.68	平成4年	R C造

市民文化関連施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
集会施設	初田牛会館	6	0	-	-		6
	和田会館	2	0	-	-		2
	落石会館	3,219	55	614	5,243	17	3,202
	花咲港会館	2,939	190	309	9,511	105	2,834
	厚床会館（公民館分館）	3,553	570	2,471	1,438	110	3,443
	温根沼会館	2,455	190	3,634	676	26	2,429
	歯舞会館（支所・公民館分館）	17,855	800	2,395	7,455	22	17,833
	小 計	30,029	1,805	9,423	24,323	280	29,749
文化施設	総合文化会館（公民館）	103,553	1,890	74,068	1,398	4,999	98,554
	小 計	103,553	1,890	74,068	1,398	4,999	98,554
	合 計	133,582	3,695	83,491	25,721	5,279	128,303

施設分類	集会施設										
担当部署	市民環境課			関連計画		第2期地域会館整備計画					
配置方針	各施設ともに古くからの地縁に基づき形成された地域であり、現在も産業形態や小学校区等の関係から、ある程度一体的なまとまりを持った地域ごとに設置されており、現状では概ね適正な配置である。										
現状と課題	厚床会館については、老朽化により、建替や大規模改修等が必要である。 温根沼・歯舞会館については築後 20 年強で建物の劣化も比較的低程度のため、当面は小規模な修繕により対応が可能である。 落石会館及び令和5年度より供用開始の花咲港会館については、築年数が浅いことから、小破状況にあわせた軽微な修繕対応のみで長期間の使用に耐え得る状態となっている。										
更新時方針	厚床会館については、令和3年3月に策定した「（仮称）花咲港・厚床ふるさと館整備事業基本構想」に基づき、耐震性が確保された施設として整備を行う。 温根沼会館については津波災害警戒区域及び高潮浸水想定区域に位置しており、避難所指定されておらず、最寄りの指定避難所（根室市立海星学校）約3kmの距離があることから、津波被害等に備え、高台への移転改築を含めた避難所対応施設としての整備を検討する必要がある。 その他の会館については、適切な維持管理による現施設での運用を基本とするが、老朽化・劣化度合が著しく、継続利用が困難となった場合は、他の地域会館を含めた全体的な整備計画と照合しつつ、その後の方針を決定する。										
実施内容／スケジュール	第1期			第2期			第3期			第4期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
初田牛会館	継続・維持			検討・協議			廃止・解体				
和田会館	継続・維持			継続・維持			検討・協議			廃止・解体	
落石会館	新築・改築 廃止・解体			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
花咲港会館	移転・複合化 廃止・解体			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
厚床会館	検討・協議			新築・改築 廃止・解体			継続・維持			継続・維持	
温根沼会館	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
歯舞会館	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
厚床会館		新築・改築	廃止・解体								
削減目標面積（㎡）	第1期			第2期			第3期			第4期	
	1840.64			827.64			110.14			65.00	

施設分類	文化施設										
担当部署	総合文化会館			関連計画		社会教育施設の長寿命化計画（個別計画）					
配置方針	公共文化施設として今後も継続して利用が見込まれることから、立地条件等も含め、現状での配置を維持することが必要と考える。										
現状と課題	経年劣化や老朽化等による施設自体の損傷や、設備についても老朽化が進み、今後、大規模改修や設備の整備が必要であり、利用者の活動に支障がないよう、緊急度の高いものから計画的に整備する。										
更新時方針	現状は施設機能維持及び施設長寿命化のための大規模改修や館内設備の更新・整備に努める。 また、施設更新時には、施設の規模や機能について検討する。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
総合文化会館	大規模改修			大規模改修			新築・改築			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

2-2 社会教育関連施設

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
図書館	図書館	直営		2,432.64	昭和49年	R C 造
博物館	歴史と自然の資料館	直営		904.00	昭和17年	レンガ造
	和田屯田記念館（和田屯田兵村の被服庫）	直営		165.00	明治18年	W造
	歴史と自然の資料館附属収蔵庫（西和田）	直営		756.00	昭和52年	R C 造
	歴史と自然の資料館附属収蔵庫（温根沼）	直営		273.00	昭和53年	R C 造

社会教育関連施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
図書館	図書館	14,712	606	36,976	398	0	14,712
	小 計	14,712	606	36,976	398	0	14,712
博物館	歴史と自然の資料館	1,814	231	3,203	566		1,814
	和田屯田記念館（和田屯田兵村の被服庫）	157	5	86	1,826		157
	歴史と自然の資料館附属収蔵庫（西和田）			-	-		0
	歴史と自然の資料館附属収蔵庫（温根沼）			-	-		0
	小 計	1,971	236	3,289	2,392	0	1,971
	合 計	16,683	842	40,265	2,790	0	16,683

施設分類	図書館										
担当部署	図書館			関連計画		社会教育施設の長寿命化計画（個別計画）					
配置方針	市民の生涯学習施設として、安心・安全・快適な施設環境整備を図ることにより、市民ニーズに迅速に対応する情報拠点としての役割を果たす目的から、現状の配置が適切であるとする。										
現状と課題	開設から 40 年以上経過し、老朽化が著しく、令和元年度に屋上屋根改修工事を実施したが、外壁に多数のクラックがあることによる雨漏りが発生している状況にある。 また、耐震基準をクリアしておらず、耐震改修又は新築移転を検討が必要。										
更新時方針	耐用年数を大幅に経過し、耐震基準をクリアしていない建物のため、社会教育施設全体の計画に基づき、複合化も視野に入れ検討。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
図書館	大規模改修			検討・協議			新築・改築			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

施設分類	博物館										
担当部署	歴史と自然の資料館			関連計画		社会教育施設の長寿命化計画（個別計画）					
配置方針	根室市歴史と自然の資料館は、花咲港小学校を大規模改修し、平成 2 年郷土資料保存センターとして開館、平成 16 年に博物館相当施設の指定を受けて、名称を変更した。 博物館の設置については、昭和 54 年から検討を行っているが、第 9 期総合計画の重点プロジェクトにおいては「博物館など生涯学習施設の整備・充実」が掲げられており、その方法について検討を行う必要がある。										
現状と課題	根室市歴史と自然の資料館は、昭和 17 年に旧海軍の通信隊兵舎として建設された施設の改修を重ね今日まで使用しているため、老朽化、狭隘化が著しく、機能移転を含めた抜本的な改善が必要である。また、利用者の多くが根室市外から訪れており、交流人口の拡大にも貢献しており、市民の郷土学習のみならず、観光客も満足させる施設としての拡充が望まれている。 和田屯田記念館は、明治 18 年の建設と推定され、屯田兵軍政機関の数少ない遺構であるが、外壁や杭頭などの腐朽が指摘されており、北海道指定有形文化財であることから、文化財建造物の専門家と調査・検討を進める必要がある。										
更新時方針	当該施設は、歴史的建造物としての保存が必要なことから、施設機能維持及び施設長寿命化のため改修や館内設備の更新・整備に努め、併せて、博物館活動拠点施設については、根室市社会教育計画で、その機能について検討を進めることとしており、整備・充実に向けて他施設との調整を図りながら規模や機能について検討を行う必要がある。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
歴史と自然の資料館	大規模改修			大規模改修			新築・改築			継続・維持	
歴史と自然の資料館付 属収蔵庫（西和田）	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
歴史と自然の資料館付 属収蔵庫（温根沼）	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
和田屯田記念館 （和田屯田兵村の被服庫）	検討・協議			大規模改修			継続・維持			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
歴史と自然の資料館	大規模改修	大規模改修									
和田屯田記念館 （和田屯田兵村の被服庫）	大規模改修										
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

2-3 スポーツ関連施設

スポーツ関連施設の一覧

分類	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
スポーツ 関連施設	青少年センター	直営		2,963.09	昭和45年	R C造一部 S 造
	歯舞スポーツセンター	直営		2,504.00	昭和56年	R C造
	アイスホッケーリンクハウス	直営		88.66	平成23年	S 造
	屋内相撲場	直営		97.20	平成19年	S 造
	温水プール	直営		2,247.44	昭和63年	R C造一部 S 造
	武徳殿	直営		317.00	昭和36年	W 造
	総合運動公園管理棟	直営		216.00	平成16年	R C造
	運動公園テニスコートクラブハウス	直営		98.58	平成14年	R C造
	パークゴルフ場管理棟	直営		68.85	平成5年	R C造
	パークゴルフ場ユニットハウス	直営		38.88	平成8年	W 造
	市営スケートリンクハウス管理棟	直営		173.03	平成7年	W 造
	市営スケートリンクハウス機械倉庫	直営		120.61	平成7年	S 造
	市営ゲートボール場管理棟	直営		60.75	平成3年	W 造
	市営テニスコートクラブハウス	直営		38.88	昭和52年	W 造

スポーツ関連施設の経費と利用度

分類	施設名称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
スポーツ 関連施設	青少年センター	12,871	44	26,522	485	608	12,263
	歯舞スポーツセンター	2,222	0	1,933	1,150		2,222
	アイスホッケーリンクハウス	647	0	1,252	517		647
	屋内相撲場	0	0	0	-		0
	温水プール	63,215	695	14,224	4,444	3,566	59,649
	武徳殿	632	3	3,747	169		632
	総合運動公園管理棟	7,297	0	5,101	1,431	328	6,969
	運動公園テニスコートクラブハウス	3,904	19	3,688	1,059	210	3,694
	パークゴルフ場管理棟	1,551	34	19,932	78	806	745
	パークゴルフ場ユニットハウス	0	0	9,966	0		0
	市営スケートリンクハウス管理棟	1,087	54	9,610	113		1,087
	市営スケートリンクハウス機械倉庫	0	0	0	-		0
	市営ゲートボール場管理棟	319	0	91	3,505		319
	市営テニスコートクラブハウス	136	0	720	189		136
	小 計	93,881	849	96,786	13,140	5,518	88,363
	合 計	93,881	849	96,786	13,140	5,518	88,363

施設分類	スポーツ関連施設										
担当部署	社会体育課			関連計画	社会教育施設の長寿命化計画（個別計画）						
配置方針	総合体育館の建設にあたって、青少年センターと一体的に配置されている施設があることから、別敷地に建設する場合には、他の施設の管理や、移転についても考慮する必要がある。										
現状と課題	青少年センター・武徳殿・温水プールなど、老朽化が著しい施設について、現状は維持補修により対応している状況であるが、利用者ニーズも変化してきていることや、現状では大規模大会等を誘致できないことなどを踏まえ、現在、集約・複合化も含め新総合体育会館建設に向け検討中。										
更新時方針	施設の更新にあたっては、各施設が分散化しないように努めるほか、防災機能の保持や各種スポーツ大会の開催の必要性なども含めて検討する。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期		第 3 期			第 4 期		
	H29～R6			R7～R16		R17～R26			R27～R36		
青少年センター	検討・協議			移転・複合化 廃止・解体							
歯舞スポーツセンター	継続・維持			継続・維持		継続・維持			継続・維持		
アイスホッケーリンクハウス	継続・維持			継続・維持		継続・維持			継続・維持		
屋内相撲場	検討・協議			移転・複合化 廃止・解体							
温水プール	検討・協議			移転・複合化 廃止・解体							
武徳殿	検討・協議			移転・複合化 廃止・解体							
総合運動公園管理棟	継続・維持			検討・協議		大規模改修			継続・維持		
運動公園テニスコートクラブハウス	継続・維持			継続・維持		継続・維持			継続・維持		
パークゴルフ場管理棟	新築・改築			継続・維持		継続・維持			継続・維持		
パークゴルフ場ユニットハウス	廃止・解体										
市営スケートリンクハウス管理棟	継続・維持			検討・協議		大規模改修			継続・維持		
市営スケートリンクハウス機械倉庫	継続・維持			検討・協議		大規模改修			継続・維持		
市営ゲートボール場管理棟	継続・維持			継続・維持		継続・維持			継続・維持		
※市営テニスコートクラブハウス	継続・維持										
総合体育会館	検討・協議			新築・改築		継続・維持			継続・維持		
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9		R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
屋内相撲場			移転・複合化		廃止・解体						
青少年センター			移転・複合化		廃止・解体						
温水プール			移転・複合化		廃止・解体						
武徳殿			移転・複合化		廃止・解体						
総合体育会館			新築・改築								
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	38.88			5,624.73							

※令和5年度より学校関連施設に所管替

2-4 レクリエーション施設

レクリエーション施設の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
観光施設	白鳥台センター	指定管理者		1,210.75	平成11年	R C 造
	春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター	直営		569.46	平成6年	S 造一部W造
	明治公園野鳥観察舎	直営		9.94	平成23年	W造
	市民の森野鳥観察舎	直営		9.94	平成23年	W造
	東梅野鳥観察舎	直営		9.93	平成23年	W造
	納沙布岬野鳥観察舎	直営		6.62	平成24年	W造
	温根元野鳥観察舎	直営		6.62	平成25年	W造
	花咲港車石野鳥観察舎	直営		6.62	平成28年	W造
	原生花園東屋	直営		22.09	昭和62年	W造
少年自然の家関連施設	別当賀夢原館	直営		1,081.80	昭和50年	R C 造

レクリエーション施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
観光施設	白鳥台センター	23,617	781	129,322	183		23,617
	春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター	15,990	98	8,712	1,835		15,990
	明治公園野鳥観察舎	1,320	0	-	-		1,320
	市民の森野鳥観察舎	1	0	-	-		1
	東梅野鳥観察舎	0	0	-	-		0
	納沙布岬野鳥観察舎	752	0	-	-		752
	温根元野鳥観察舎	163	0	-	-		163
	花咲港車石野鳥観察舎	752	0	-	-		752
	原生花園東屋	0	0	-	-		0
	小 計	42,595	879	138,034	2,018	0	42,595
少年自然の家関連施設	別当賀夢原館	3,706	100	577	6,423	140	3,566
	小 計	3,706	100	577	6,423	140	3,566
	合 計	46,301	979	138,611	8,441	140	46,161

施設分類	観光施設等										
担当部署	商工労働観光課・農林課				関連計画		自然保護関連施設個別施設計画				
配置方針	現在設置されている観光施設については、立地条件や規模等から、観光客の受入体制に適切と認められる配置であり、現状の配置が適切と考える。 ネイチャーセンターは、施設の設置目的等から、現在の場所での継続した配置が必要であると考え。										
現状と課題	観光施設は、現状、大規模な改修等が必要な施設はなく、経年劣化等による小規模修繕については随時対応している。										
更新時方針	大規模改修等が必要となった際には、施設の利用状況等を検証し、個々の必要性等の検討を行う。 ネイチャーセンターは、現状の施設機能維持のため、改修・修繕等による施設長寿命化に努める。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
白鳥台センター	検討・協議			大規模改修			継続・維持			継続・維持	
春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター	継続・維持			継続・維持			検討・協議			大規模改修	
明治公園野鳥観察舎	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
市民の森野鳥観察舎	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
東梅野鳥観察舎	継続・維持			継続・維持			検討・協議			検討・協議	
納沙布岬野鳥観察舎	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
温根元野鳥観察舎	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
原生花園東屋	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		R16
白鳥台センター									大規模改修		大規模改修
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

施設分類	少年自然の家関連施設										
担当部署	別当賀夢原館			関連計画		社会教育施設の長寿命化計画（個別計画）					
配置方針	根室市には、宿泊型の生涯学習施設が本施設のみであり、現状の配置を維持する。										
現状と課題	当施設の体育館は、耐震化診断で一部基準を満たしていないため、施設の維持に努める。										
更新時方針	現状の施設機能維持のため、改修・修繕等による施設長寿命化に努める。 ただし、大規模改修が必要となった場合には、当該施設は地域会館・避難所等の機能も有しており、施設の有り方について、関係部署や地域住民との協議が必要となる。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
別当賀夢原館	検討・協議			耐震改修			継続・維持			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
別当賀夢原館									検討・協議	耐震改修	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

2-5 産業関連施設

産業関連施設の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
水産関連施設	水産研究所	直営		1,156.69	平成8年	S造/R S造
	ウニ種苗生産センター	直営		3,510.50	平成3年	S造
	水産加工振興センター	直営		750.00	昭和53年	S造
	栽培漁業研究センター	直営		1156.69	令和元年	S造
農業関連施設	農業会館	直営		263.00	平成11年	S造

産業関連施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
水産関連施設	水産研究所	6,891	500	-	-		6,891
	ウニ種苗生産センター	他団体負担		-	-		
	水産加工振興センター	3,167	517	890	3,558	335	2,832
	栽培漁業研究センター	22,861	32	-	-		22,861
	小 計	32,919	1,049	890	3,558	335	32,584
農業関連施設	農業会館	804	0	300	2,680		804
	小 計	804	0	300	2,680	0	804
	合 計	33,723	1,049	1,190	6,238	335	33,388

施設分類	水産関連施設										
担当部署	水産指導課・水産研究所・ 水産加工振興センター				関連計画		水産研究所栽培漁業研究センター個別施設計画 水産加工振興センター個別施設計画				
配置方針	沿岸資源の維持増大に向けた事業を展開するため、現状での配置が適切であると考え、ウニ種苗生産センターについては、高潮対策等の観点から、移転も視野に入れた検討を要する。水産加工振興センターは、立地条件や利用者の利便性等を考慮し、現状の配置を維持することが適当と考える。										
現状と課題	水産研究所・ウニ種苗生産センターは、施設の老朽化に伴う経年劣化や機器の故障が発生しており、外部補修や機器の更新等が必要となっている。 また、ウニ種苗生産センターにおいては、高潮災害対策として、防波壁や逆流防止弁などの設置を実施しているが、今後は、高台移転も含めた施設のあり方について検討する必要がある。 水産加工振興センターは、平成 21 年度に加工場床の大規模補修を実施しており、今後も計画的な老朽化対策により、施設機能の維持を図る。 栽培漁業研究センターは、令和 2 年度に水産研究所の付属施設として整備されたものであり、法定耐用年数が 31 年であるため、それを見据えた施設の維持管理及び更新が必要である。										
更新時方針	定期的に外部補修や機器を更新し、施設の機能維持に努めるとともに、既存設備の有効活用や生残技術の向上により、施設の機能を最大限発揮するよう努める。 水産加工振興センターは、当面は維持補修等による施設の維持を図る。										
実施内容／ スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
水産研究所	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
ウニ種苗生産センター	検討・協議			検討・協議			検討・協議			検討・協議	
水産加工振興センター	継続・維持			検討・協議			新築・改築			継続・維持	
栽培漁業研究センター	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

施設分類	農業関連施設										
担当部署	農林課				関連計画		農業会館個別施設計画				
配置方針	立地条件や利用者の利便性等を考慮し、現状の配置を維持することが適当と考える。										
現状と課題	現状においては、大規模な改修が必要な状況はなく、利用者の要望に応じ、施設機能の維持向上を図る。										
更新時方針	当面は維持補修等による施設の維持を図る。										
実施内容／ スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
農業会館	継続・維持			継続・維持			検討・協議			大規模改修	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

2-6 学校教育関連施設

学校教育関連施設の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡) 棟 数	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
小学校	北斗小学校（放課後教室・給食共同調理場含む）	直営		6,526.80	昭和39年	校舎R C造/屋体S造
	花咲小学校（放課後教室含む）	直営		5,717.77	昭和53年	校舎R C造/屋体S造
	成央小学校（放課後教室・給食共同調理場含む）	直営		6,875.50	昭和42年	校舎R C造/屋体S造
	花咲港小学校	直営		2,476.00	昭和63年	校舎R C造/屋体S造
	落石小学校	直営		2,540.00	昭和57年	校舎R C造/屋体S造
	厚床小学校	直営		1,703.76	平成26年	校舎R C造
中学校	光洋中学校（給食共同調理場含む）	直営		7,249.00	昭和39年	校舎R C造/屋体S造/調理場S造
	柏陵中学校	直営		5,655.00	平成13年	校舎R C造/屋体S造
	落石中学校	直営		2,089.00	昭和44年	校舎R C造/屋体S造
	厚床中学校	直営		1,258.00	昭和49年	R C造
	厚床中学校（下段屋内運動場）	直営		1,217.00	平成27年	R C造
義務教育学校	海星学校（前期課程）	直営		2,050.00	平成18年	校舎R C造/屋体S造
	海星学校（後期課程）	直営		1,558.00	昭和54年	
	歯舞学園（前期課程）	直営		2,054.00	平成25年	校舎R C造/屋体S造
	歯舞学園（後期課程）	直営		3,686.00	昭和45年	
教員住宅	光洋町	直営		32	昭和40年 ～ 平成12年	W造 C B造 B造 R C造
	敷島町	直営		7		
	駒場町	直営		2		
	花咲港	直営		1		
	昆布盛	直営		3		
	西和田	直営		5		
	千島町	直営		1		
	温根元	直営		3		
	栄町	直営		1		
	落石	直営		7		
	厚床	直営		9		
	温根沼	直営		6		
	友知	直営		4		
	瑛瑤瑁	直営		4		
	歯舞	直営		6		

学校教育関連施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	児童・ 生徒数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
小学校	北斗小学校（放課後教室含む）	104,458	6,949	293	—		104,458
	花咲小学校（放課後教室含む）			145	—		
	成央小学校（放課後教室含む）			331	—		
	花咲港小学校			9	—		
	落石小学校			31	—		
	厚床小学校			24	—		
	海星学校（前期課程）			20	—		
	歯舞学園（前期課程）			89	—		
	小 計	104,458	6,949	942	0	0	104,458
中学校	光洋中学校	65,051	6,285	270	—		65,051
	柏陵中学校			146	—		
	落石中学校			20	—		
	厚床中学校			11	—		
	海星学校（後期課程）			23	—		
	歯舞学園（後期課程）			49	—		
	小 計	65,051	6,285	519	0	0	65,051
教員住宅	光洋町	3,326	3,326	—	—	9,357	△ 6,031
	敷島町			—	—		
	駒場町			—	—		
	花咲港			—	—		
	昆布盛			—	—		
	西和田			—	—		
	千島町			—	—		
	温根元			—	—		
	栄町			—	—		
	落石			—	—		
	厚床			—	—		
	温根沼			—	—		
	友知			—	—		
	瑤瑤			—	—		
	歯舞			—	—		
	小 計	3,326	3,326	0	0	9,357	△ 6,031
共同調理場	北斗学校給食共同調理場	7,776	1,535	—	—		7,776
	成央学校給食共同調理場			—	—		
	光洋学校給食共同調理場			—	—		
	小 計	7,776	1,535	0	0	0	7,776
	合 計	180,611	18,095	1,461	0	9,357	171,254

施設分類	学校教育関連施設		
担当部署	教育総務課	関連計画	根室市立小中学校適正配置計画 根室市立学校施設の長寿命化計画（個別施設計画）
配置方針	少子化により児童・生徒数が減少していることから、将来を見据え小中学校の統廃合を想定し、義務教育の充実のため学校の適正配置を検討していく。給食共同調理場は、今後の児童生徒数の推移や、現状の衛生管理基準の達成を考慮し、将来的には、現状の3調理場から1調理場への集約の検討が必要であると考え。		
現状と課題	市内小中学校の8割以上が建設当時から30年以上経過しており、老朽化が進んでいることから、大規模な改修または建て替えが必要となっている。 教員住宅は、児童・生徒数の減少により学校配置教職員も減少することから、空き住宅が増加している現状にある。常時管理する者（居住者）が居ないことから、風雨による窓ガラスや屋根の破損が発生し、それら飛散による2次被害防止のため、維持補修費が発生している。 共同調理場は、3調理場の全てが昭和40年代に建築されており老朽化が進むとともに、構造上、魚類等の原材料の調理に制約があるため献立や効率的な給食の提供に支障がでている。食中毒等の予防のため、より一層の衛生管理の徹底が求められている。		
更新時方針	学校施設は、根室市立小中学校適正配置計画の対象校としている学校については、児童・生徒数の減少に伴い将来的には、養護教諭や事務職員の配置が国の配置定数上、不可能となることが見込まれ、特に中学校は教科担任制であり、学級担任制をとる小学校と比べて小規模化による教員定数減の影響が大きく、特に教科担任をそろえることができない場合は教科指導に大きな支障が生じることから、教育環境の向上を図るため、適正配置に向け保護者や地域住民の方など関係者への説明・協議を進めていく。 他の学校、施設については、老朽化や児童・生徒数の減少を見据えながら、計画的に施設の延命化を図る。 教員住宅は、入居が見込まれず、また建築から相当年数が経過している住宅については、廃止・解体を基本とするが、補助金を受けて建設しているものもあるため、補助制限等に抵触しない住宅から順次解体する。また、直営管理を縮減し、事務の効率化を図るため、引き続きPFI事業を活用した整備等も検討していく。 共同調理場は、児童生徒数の減少及び施設の老朽化に伴い、調理場の整備を効率的に推進するため、施設の集約を進める必要があり、小中学校の適正配置の状況や国の衛生管理基準に準拠しつつ、「学校における給食に関する検討委員会」からの意見等を踏まえ、協議、検討を進めていく。		

実施内容／ スケジュール	第1期			第2期			第3期			第4期		
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36		
北斗小学校	継続・維持			移転・複合化			継続・維持			継続・維持		
花咲小学校	移転・複合化			移転・複合化			継続・維持			継続・維持		
成央小学校	継続・維持			移転・複合化			継続・維持			継続・維持		
花咲港小学校	大規模改修			継続・維持			継続・維持			継続・維持		
落石小学校	大規模改修			継続・維持			継続・維持			継続・維持		
厚床小学校	検討・協議			大規模改修			継続・維持			継続・維持		
光洋中学校	継続・維持			移転・複合化			継続・維持			継続・維持		
柏陵中学校	移転・複合化			移転・複合化			継続・維持			継続・維持		
落石中学校	移転・複合化 廃止・解体			継続・維持			継続・維持			継続・維持		
厚床中学校	検討・協議			新築・改築 廃止・解体			継続・維持			継続・維持		
海星学校	継続・維持			大規模改修			継続・維持			継続・維持		
歯舞学園(前期課程)	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持		
歯舞学園(後期課程)	継続・維持			検討・協議			新築・改築			継続・維持		
北斗共同調理場	検討・協議			廃止・解体								
成央共同調理場	検討・協議			廃止・解体								
光洋共同調理場	検討・協議			廃止・解体								
新学校給食センター				新築・改築			継続・維持			継続・維持		
教員住宅	継続・維持 廃止・解体			継続・維持 廃止・解体			継続・維持 廃止・解体			継続・維持 廃止・解体		
第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16		
北斗小学校			移転・複合化	移転・複合化								
花咲小学校						移転・複合化	移転・複合化					
成央小学校						移転・複合化	移転・複合化					
厚床小学校	大規模改修											
光洋中学校						移転・複合化	移転・複合化					
柏陵中学校			移転・複合化	移転・複合化								
厚床中学校	新築・改築	廃止・解体										
海星学校							大規模改修					
北斗共同調理場		廃止・解体										
成央共同調理場		廃止・解体										
光洋共同調理場		廃止・解体										
新学校給食センター	検討・協議											
教員住宅	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体								

削減目標面積 (㎡)	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
	12,564.89	2,148.28		

2-7 子育て支援施設

子育て支援施設の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
保育所	まつもと保育所（子育て相談所含む）	直営		844.65	平成9年	R C造
	こまば保育所	直営		715.64	平成6年	W造
	はぼまい保育所（通称名みさき保育園）	指定管理者		641.52	昭和58年	W造
	落石へき地保育所	直営		210.74	平成29年	W造
	厚床へき地保育所	直営		166.86	平成4年	W造

子育て支援施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	児童数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
保育所	まつもと保育所（子育て相談所含む）	12,367	401	58	213,224	4,011	8,356
	こまば保育所	18,723	1,092	54	346,722	3,401	15,322
	はぼまい保育所（通称名みさき保育園）	61,986	82	43	1,441,535	1,901	60,085
	落石へき地保育所	4,716	0	2	2,358,000	0	4,716
	厚床へき地保育所	7,625	254	4	1,906,250	16	7,609
	小 計	105,417	1,829	161	6,265,731	9,329	96,088
	合 計	105,417	1,829	161	6,265,731	9,329	96,088

施設分類	保育所										
担当部署	子ども子育て課				関連計画		保育所適正配置計画 保育施設個別施設計画				
配置方針	少子化が進行する中、就労形態の多様化などにより保育ニーズが高まっていることから、民間保育施設との連携・協働等により、市内保育施設の適正配置を図るとともに、施設の老朽化対策や、地域間格差の解消等、根室市保育所適正配置計画の推進に向けた取り組みを進める。										
現状と課題	少子化の進行により児童数が減少していることや、施設の老朽化対策に加え、冬期間閉所している、へき地保育所の通年開所や、3歳児未満（乳幼児）の受入れによる地域間格差の解消が求められている。										
更新時方針	施設更新時においては、既存の市立保育所での受け入れや、民間保育施設との連携・協働等による適正配置を図るとともに、適切な施設整備による保育環境の充実を目指す。										
実施内容／ スケジュール	第1期			第2期			第3期			第4期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
まつもと保育所 （子育て相談所含む）	継続・維持			継続・維持			継続・維持			検討・協議	
こまば保育所	継続・維持			検討・協議			移転・複合化			廃止・解体	
はばまい保育所 （通称名みさき保育園）	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
落石保育所	新築・改築			継続・維持			継続・維持			検討・協議	
厚床保育所	継続・維持			検討・協議			新築・改築			継続・維持	
第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
削減目標面積（㎡）	第1期			第2期			第3期			第4期	
										715.64	

2-8 保健福祉関連施設

保健福祉関連施設の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
高齢福祉施設	老人福祉センター	指定管理者		573.48	昭和47年	R C造
	第2老人福祉センター	指定管理者	○	888.00	平成1年	C B造
障がい福祉施設	児童デイサービスセンター	指定管理者		512.94	昭和41年	C B造
その他社会福祉施設	福祉交流館	直営		360.45	昭和54年	C B造
	福祉会館	指定管理者		658.55	昭和44年	R C造

保健福祉関連施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
高齢福祉施設	老人福祉センター	23,017	308	24,010	959	0	23,017
	第2老人福祉センター	18,624	1,583	17,943	1,038	8	18,616
	小 計	41,641	1,891	41,953	1,997	8	41,633
障がい福祉施設	児童デイサービスセンター	18,480	298	560	33,000	0	18,480
	小 計	18,480	298	560	33,000	0	18,480
その他社会福祉施設	福祉交流館	1,096	17	1,488	737	0	1,096
	福祉会館	6,125	0	3,974	1,541	32	6,093
	小 計	7,221	17	5,462	2,278	32	7,189
	合 計	67,342	2,206	47,975	37,275	40	67,302

施設分類	高齢者福祉施設										
担当部署	介護福祉課				関連計画		老人福祉センター個別施設計画				
配置方針	将来的に高齢者人口の減少が見込まれるが、現状老人福祉センター、第2老人福祉センター共に利用者数は堅調に推移しており、当面は2施設を維持していく。										
現状と課題	老人福祉センターは、建設から50年以上経過しており老朽化が目立ち、利用者から建て替えの要望が出されており、令和5年度において建て替えに向けて基本構想策定に着手し、令和6年度以降は、基本設計、実施設計及び着工と進めていく予定である。 第2老人福祉センターは、令和元年度に西浜児童館と複合化し、緊急を要する大規模な修繕は現状必要ではないが、建設から30年以上経過し、外壁等劣化が見られるところもあり、長寿命化のための改修が必要な状況にある。										
更新時方針	生活スタイル及び趣味の多様化に伴い変化するニーズに対応するため、利用状況や利用者の要望をもとに必要な機能を検証し、施設の適正規模を検討する。										
実施内容／スケジュール	第1期			第2期			第3期			第4期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
老人福祉センター	継続・維持			新築・改築 廃止・解体			継続・維持			継続・維持	
第2老人福祉センター	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
第2期スケジュール	R7		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
老人福祉センター	新築・改築		新築・改築	廃止・解体							
削減目標面積（㎡）	第1期			第2期			第3期			第4期	
				573.48							

施設分類	障がい福祉施設										
担当部署	社会福祉課				関連計画		児童デイサービスセンター個別施設計画				
配置方針	法令に基づき所定の設備要件を整える必要があることから、現状での施設配置が適切であると考え る。										
現状と課題	既存施設を転用して利用しており、開設に併せ大規模改修を行っているが、近年は老朽化が進み、 再度の大規模改修により延命を図ることは困難な状況。										
更新時方針	令和 6 年度以降、旧川上小児科医院に移転を予定しており、移転移行は施設機能の維持に努め る。										
実施内容／ スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
児童デイサービスセンター	移転・複合化			継続・維持 廃止・解体			継続・維持			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
児童デイサービスセンター	廃止・解体										
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
				512.94							

施設分類	その他社会福祉施設										
担当部署	社会福祉課				関連計画		福祉交流館個別施設計画				
配置方針	法令に基づき所定の設備要件を整える必要があることや、高齢化の進展とともに、社会福祉施設に対するニーズは今後も増大することが見込まれることから、現状の施設の配置は必要である。また、利用者の利便性を考慮し、市街地にあることが望ましい。										
現状と課題	福祉交流館については、開設に併せ大規模改修を行っているが、経年劣化による設備・備品の小破修繕は毎年度発生しており、その都度修繕対応している状況である。また、福祉会館についても、開設後に改修を重ねてきているが、施設老朽化は著しく、施設を維持するためには、耐震診断を早期に実施のうえ、改修を行うことが必要である。										
更新時方針	各施設とも、既存施設の転用により配置をしているところであり、当面は修繕等により対応するが、施設の建築年度を勘案すると、再度の大規模改修により延命を図ることは困難であり、新築か、建築年度の新しい他の施設への移転も含めて検討する必要がある。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
福祉交流館	検討・協議			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
福祉会館	検討・協議			検討・協議			移転・複合化			廃止・解体	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
										658.55	

2-9 医療施設(診療所)

医療施設(診療所)の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
診療所	歯舞診療所	直営		360.84	昭和53年	W造
	歯舞歯科診療所	直営		223.96	昭和54年	W造
	厚床歯科診療所	直営		204.93	昭和51年	W造

医療施設(診療所)の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
診療所	歯舞診療所	130	110	4,983	26		130
	歯舞歯科診療所	252	237	4,426	57		252
	厚床歯科診療所	448	436	2,800	160		448
	小 計	830	783	12,209	243	0	830
	合 計	830	783	12,209	243	0	830

施設分類	診療所										
担当部署	保健課			関連計画		市立診療所個別施設計画					
配置方針	各診療所については、診療所に医師公宅が一体の施設であることなどから、各診療所の統合は困難であり、また、各地域の要望により設置された施設であることから、現行の配置を維持することが必要と考える。										
現状と課題	各診療所施設は、建設から30年以上経過していることから老朽化が著しい。しかしながら、現状の場所等での建築が難しいことや、患者も多く、診療を休止することができないため、施設の定期的な改修により施設の維持・延命化を図る。										
更新時方針	平成26年度に屋根・外壁等の改修を行っていることなどから、当面は応急的な修繕等での対応とするが、各施設とも30年以上経過していることから、診療所医師とも相談のうえ、各診療所改築について、今後検討する必要がある。										
実施内容／スケジュール	第1期			第2期			第3期			第4期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
歯舞診療所	検討・協議			新築・改築			継続・維持			継続・維持	
歯舞歯科診療所	検討・協議			新築・改築			継続・維持			継続・維持	
厚床歯科診療所	検討・協議			新築・改築			継続・維持			継続・維持	
第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
歯舞診療所										新築・改築	
歯舞歯科診療所										新築・改築	
厚床歯科診療所										新築・改築	

2-10 本庁舎施設

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
本庁舎	本庁舎	直営		4,912.43	昭和48年	R C造
	車庫	直営		228.00	昭和48年	S造

本庁舎施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
本庁舎	本庁舎	38,964	650	-	-	2,047	36,917
	車庫			-	-		0
	小 計	38,964	650	0	0	2,047	36,917
	合 計	38,964	650	0	0	2,047	36,917

施設分類	本庁舎										
担当部署	総務課				関連計画	第9期総合計画 地域防災計画 新庁舎建設基本計画					
配置方針	庁舎整備に関する市民アンケートや、市政モニター会議を実施するとともに、議会での議論を踏まえ、令和元年8月に市役所庁舎を「災害対応拠点施設として建替え耐震化を図る」との方針を決定した。										
現状と課題	昭和48年に建設された市役所庁舎は、平成21年度に行った耐震診断の結果、地階から3階までが耐震性能を表すI s値が一般的に耐震性能があるとされる0.6を大きく下回り、「震度6強程度の地震で崩壊（倒壊）する危険性がある（高い）状況」と判定されている。										
更新時方針	令和2年11月に策定した「根室市役所庁舎建設基本計画」に基づき、令和4年6月に建設工事に着手。令和6年5月より供用開始を予定。竣工後は施設機能の維持に努める。										
実施内容／スケジュール	第1期			第2期			第3期			第4期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
本庁舎	新築・改築 廃止・解体			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
車庫	廃止・解体			新築・改築			継続・維持			継続・維持	
現業詰所及び物品庫	廃止・解体										
車庫兼書庫	廃止・解体										
物品庫	廃止・解体										
第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
車庫	新築・改築										
削減目標面積（㎡）	第1期			第2期			第3期			第4期	
	5,870.2										

2-11 消防施設

消防施設の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
消防施設	消防本部（庁舎）	直営		694.95	平成6年	R C造
	消防本部（車庫）	直営		823.26	平成23年	S造
	消防本部（女性専用庁舎）	直営		67.41	平成30年	R C造
	花咲港消防分遣所	直営		217.62	平成7年	W造
	厚床消防分遣所	直営		278.36	平成10年	W造
	歯舞消防分遣所	直営		288.18	平成13年	W造
	落石消防団詰所	直営		77.84	平成20年	W造
	消防救急デジタル無線局舎	直営		9.20	平成25年	非W造
	消防救急デジタル無線局舎（歯舞）	直営		9.20	平成25年	非W造
	消防救急デジタル無線局舎（落石）	直営		9.20	平成25年	非W造
	友知地区消防機械置場	直営		12.15	昭和61年	W造
	温根沼地区消防機械置場	直営		12.15	昭和61年	W造
	浜松地区消防機械置場	直営		12.15	昭和62年	W造
	双沖地区消防機械置場	直営		12.39	昭和49年	W造
	昆布盛地区消防機械置場	直営		12.15	昭和54年	W造
	温根元地区消防機械置場	直営		12.15	昭和53年	W造
	長節地区消防資機材庫	直営		12.15	昭和63年	W造
	幌茂尻地区消防機械置場	直営		9.95	令和3年	S造
	納沙布地区消防資機材庫	直営		12.15	平成1年	W造
	別当賀地区消防機械置場	直営		12.15	昭和55年	W造
	瑤瑤瑠地区消防機械置場	直営		9.95	令和4年	S造
	防災用ヘリポート用倉庫	直営		16.20	平成8年	W造

消防施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
消防施設	消防本部（庁舎）	8,008	315	—	—		8,008
	消防本部（車庫）			—	—		0
	消防本部（女性専用庁舎）			—	—		0
	花咲港消防分遣所	450	0	—	—		450
	厚床消防分遣所	399	0	—	—		399
	歯舞消防分遣所	791	0	—	—		791
	落石消防団詰所	636	0	—	—		636
	消防救急デジタル無線局舎	595	0	—	—		595
	消防救急デジタル無線局舎（歯舞）	556	0	—	—		556
	消防救急デジタル無線局舎（落石）	556	0	—	—		556
	友知地区消防機械置場	17	0	—	—		17
	温根沼地区消防機械置場	17	0	—	—		17
	浜松地区消防機械置場	13	0	—	—		13
	双沖地区消防機械置場	4	0	—	—		4
	昆布盛地区消防機械置場	16	0	—	—		16
	温根元地区消防機械置場	16	0	—	—		16
	長節地区消防資機材庫	30	0	—	—		30
	幌茂尻地区消防機械置場	9	0	—	—		9
	納沙布地区消防資機材庫	17	0	—	—		17
	別当賀地区消防機械置場	26	0	—	—		26
	瑤瑤瑠地区消防機械置場	6	0	—	—		6
	防災用ヘリポート用倉庫	1	0	—	—		1
	小 計	12,163	315	0	0	0	12,163
	合 計	12,163	315	0	0	0	12,163

施設分類	消防施設			
担当部署	消防本部・消防署		関連計画	消防施設長寿命化計画
配置方針	現状の配置は、消防本部を中心として各地区に消防機能が配備された体制となっているが、将来の人口動態の変化や消防需要に応じ、防災力を確保するうえで最適な配置や規模について、更に検討を進める。			
現状と課題	老朽化により外壁クラックから雨水が浸透し、庁舎内で雨漏りが発生しているほか、外壁の劣化も進んでいるため、早急な対応が必要である。屋上は防水工事を実施したことから、経過観察を行い定期的なメンテナンスが必要である。津波浸水区域に所在する花咲港分遣所は、高台への移転を速やかに進める必要がある。			
更新時方針	防災力の確保を念頭に置きながら、老朽化が著しい歯舞消防分遣所と厚床消防分遣所については、早急に改修を進めるとともに、各機械置場については、施設の状況により順次更新を行う。			
実施内容／スケジュール	第1期	第2期	第3期	第4期
	H29～R6	R7～R16	R17～R26	R27～R36
消防本部（庁舎）	継続・維持	継続・維持	継続・維持	検討・協議
消防本部（車庫）	継続・維持	継続・維持	継続・維持	検討・協議
消防本部（女性専用庁舎）	新築・改築	継続・維持	継続・維持	継続・維持
花咲港消防分遣所	移転・複合化	継続・維持	継続・維持	継続・維持
厚床消防分遣所	継続・維持	継続・維持	検討・協議	新築・改築
歯舞消防分遣所	継続・維持	継続・維持	検討・協議	新築・改築
落石消防団詰所	継続・維持	継続・維持	検討・協議	新築・改築
消防救急デジタル無線局舎	継続・維持	継続・維持	検討・協議	新築・改築
消防救急デジタル無線局舎（歯舞）	継続・維持	継続・維持	検討・協議	新築・改築
消防救急デジタル無線局舎（落石）	継続・維持	継続・維持	検討・協議	新築・改築
消防機械置場 友知地区	移転・複合化	継続・維持	継続・維持	継続・維持
温根沼地区	検討・協議	新築・改築	継続・維持	継続・維持
浜松地区	検討・協議	新築・改築	継続・維持	継続・維持
双沖地区	検討・協議	新築・改築	継続・維持	継続・維持
昆布盛地区	検討・協議	新築・改築	継続・維持	継続・維持
温根元地区	移転・複合化	継続・維持	継続・維持	継続・維持
長節地区	検討・協議	新築・改築	継続・維持	継続・維持
幌茂尻地区	移転・複合化	継続・維持	継続・維持	継続・維持
納沙布地区	検討・協議	新築・改築	継続・維持	継続・維持

別当賀地区	検討・協議		新築・改築			継続・維持			継続・維持	
瑛瑤瑯地区	新築・改築		継続・維持			継続・維持			継続・維持	
防災ヘリポート用倉庫	継続・維持		継続・維持			継続・維持			継続・維持	
第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
消防機械置場			新築・改築							
温根沼地区										
浜松地区				新築・改築						
双沖地区							新築・改築			
昆布盛地区						新築・改築				
長節地区	新築・改築									
納沙布地区					新築・改築					
別当賀地区		新築・改築								
削減目標面積 (㎡)	第1期		第2期			第3期			第4期	

2-12 その他行政関連施設

その他行政関連施設の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
環境センター	環境センター	直営		165.62	昭和61年	W造
火葬場	蒼香苑	直営		1547.28	平成8年	R C造
北方領土関連施設	望郷の家	直営		401.00	昭和47年	R C造
	北方領土資料館	直営		734.00	昭和58年	R C造
	根室国後間海底電信線陸揚施設	直営		22.66	昭和4年	R C造

その他行政関連施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
環境センター	環境センター	10	0	-	-		10
	小 計	10	0	0	0	0	10
火葬場	蒼香苑	12,601	971	7,685	1,640	7,900	4,701
	小 計	12,601	971	7,685	1,640	7,900	4,701
北方領土関連施設	望郷の家	800	74	99,575	8		800
	北方領土資料館	1,535	19	115,266	13		1,535
	根室国後間海底電信線陸揚施設	0	0	120	-	0	0
	小 計	2,335	0	120	0	0	0
	合 計	14,946	971	7,805	1,640	7,900	4,711

施設分類	環境センター										
担当部署	市民環境課				関連計画		衛生施設個別計画				
配置方針	廃止検討施設										
現状と課題	環境センターは、環境保全の普及・啓発を図り、当市における快適な環境づくりのため、昭和 61 年に設置され、河川等の水質調査や検査を行ってきたところである。 しかし、近年は国等における環境施策の推進等により周辺環境の改善や外部委託化など、その機能は調査・検査を主体としたものから普及・啓発ヘシフトしたため、事務事業を本庁に移行しており、本来業務での使用は無く、測定用品の使用を必要とする他課の業務で一部使用しているなど、目的外での利用に限られている。										
更新時方針	建築後 3 0 年を経過し、今後、本来業務での使用も見込まれないことから、廃止を含めて検討する。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
環境センター	継続・維持			検討・協議			廃止・解体				
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
							165.62				

施設分類	火葬場										
担当部署	市民環境課				関連計画		衛生施設個別計画				
配置方針	立地条件等を考慮し、現状の配置を維持することが適当と考える。										
現状と課題	躯体等建物には特段問題はないが、一部設備が老朽化により補修、更新が必要となっている。 また、近年火葬件数が増えており、火葬炉の耐火物等の消耗が激しくなっているため、現在の補修頻度より早い頻度となるもしくは、より質の高い材質、設備を整える必要がある。										
更新時方針	火葬炉等の設備類や、施設本体の延命を図るため、現施設を計画的に維持補修し、適切な運営ができるよう整備に努める。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
蒼香苑	継続・維持			検討・協議			新築・改築			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

施設分類	北方領土関連施設										
担当部署	北方領土対策課				関連計画						
配置方針	「望郷の家」「北方館」では、北方領土問題の歴史や現状など、「北海道立北方四島交流センター」では、四島在住ロシア人との交流の歴史や現状など、異なる情報発信を行っている。また、北方領土で生活していた事実や歴史を風化させないため、戦前の北方領土での生活に関する資料展示を中心とした「北方領土資料館」を開設し、北方領土問題の更なる啓発・喚起に努める。										
現状と課題	施設の老朽化が進んでおり、躯体等を含めた改修が必要となるが、「望郷の家」は、併設する北方館と連携、協議をしながら対応する必要がある。 平成 25 年度に取得した「根室国後間海底電信線陸揚施設」は、令和 5 年 3 月、北方領土対策に関する専門家会議「陸揚庫の保存と活用を考える分科会」より、陸揚庫の保存については、現状維持・躯体補修復元（創建時の姿に復元）・覆い屋保存の 3 案のうち、劣化を進行させている波しぶき、風雨、積雪寒冷、台風などの外部要因を遮断するため、最も有効とされる覆い屋で建物を保護する措置を早急に講じるべきとの提言を受けたところであり、劣化の進行を止めることを最優先課題とし、建物を保護する措置を早急に行う必要がある。										
更新時方針	適切な維持補修等により、施設の維持・延命を図る。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
望郷の家	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
北方領土資料館	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
根室国後間海底電信線陸揚施設	検討・協議			大規模改修			継続・維持			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
根室国後間海底電信線陸揚施設			大規模改修								
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

2-13 市営住宅

市営住宅の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
市営住宅	宝林団地	直営		971.09	昭和58年～	R C造
	駒場団地	直営		4,396.62	平成2年～	C B造
	パークタウン明治団地	直営		12,829.34	平成9年～	R C造
	光洋団地	直営		40,256.07	昭和37年～	C B造,RC造
	西浜団地	直営		5,237.50	昭和44年～	C B造
	花園団地	直営		548.75	昭和31年～	C B造
	琴平団地	直営		1,216.86	昭和53年～	C B造
	望洋団地	直営		5,228.10	昭和53年～	C B造
	花咲港団地	直営		369.40	昭和48年～	C B造
	落石団地	直営		199.20	昭和32年	C B造
	厚床団地	直営		962.56	昭和30年～	C B造
	齒舞団地	直営		741.26	昭和35年～	C B造

市営住宅の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	入居戸数 (人)	利用者一戸 当たりの経費 (円/戸)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
市営住宅	宝林団地	48,389	35,065	798	60,638	200,175	△ 151,786
	駒場団地						
	パークタウン明治団地						
	光洋団地						
	西浜団地						
	花園団地						
	琴平団地						
	望洋団地						
	花咲港団地						
	落石団地						
	厚床団地						
	齒舞団地						
	小 計	48,389	35,065	798	60,638	200,175	△ 151,786
	合 計	48,389	35,065	798	60,638	200,175	△ 151,786

施設分類	市営住宅
------	------

担当部署	建築住宅課			関連計画		公営住宅等長寿命化計画				
配置方針	市営住宅については、国の指針に基づき「根室市公営住宅長寿命化計画」を別途作成していることから、本計画に基づく予防保全的な修繕や改善計画の実施、また将来的な用途廃止等、計画に基づく配置方針としている。									
現状と課題	管理戸数の約４割が耐用年数を経過し、老朽化が著しい建物があり、また、昨今、住まいをめぐる環境は複雑化していることから、多様なニーズに応じた住環境整備を目指した建替えや既存住宅の延命を図る長寿命化を推進する必要がある。									
更新時方針	断熱性や耐用年数の向上を目的とした工事や、新築建替にこだわらない既存住宅のリフォームにより、家賃を低額に抑える手法等も取り入れることにより、入居者の多様なニーズに応える居住環境整備を図る。									
実施内容／スケジュール	第１期			第２期		第３期		第４期		
	H29～R6			R7～R16		R17～R26		R27～R36		
宝林団地	大規模改修			継続・維持		検討・協議		検討・協議		
駒場団地	継続・維持			継続・維持		検討・協議		検討・協議		
パークタウン明治団地	継続・維持			継続・維持		継続・維持		継続・維持		
光洋団地	新築・改築			新築・改築		継続・維持		継続・維持		
	大規模改修			大規模改修						
				廃止・解体						
西浜団地	継続・維持			継続・維持		検討・協議		検討・協議		
						廃止・解体				
花園団地	継続・維持			継続・維持		検討・協議		検討・協議		
						廃止・解体				
琴平団地	継続・維持			継続・維持		検討・協議		検討・協議		
望洋団地	大規模改修			大規模改修		検討・協議		検討・協議		
				継続・維持						
花咲港団地	継続・維持			継続・維持		検討・協議		検討・協議		
落石団地	継続・維持			継続・維持		検討・協議		検討・協議		
厚床団地	継続・維持			継続・維持		検討・協議		検討・協議		
				廃止・解体						
歯舞団地	継続・維持			継続・維持		検討・協議		検討・協議		
				廃止・解体						
第２期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
光洋団地	大規模改修	新築・改築	大規模改修	新築・改築	大規模改修	新築・改築	大規模改修			
	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体			
望洋団地	大規模改修									
厚床団地			廃止・解体							
歯舞団地			廃止・解体							
削減目標面積（㎡）	第１期			第２期		第３期		第４期		

光洋団地	1,594.32	5,150.88		
厚床団地		62.32		
歯舞団地		306.60		

2-14 公園施設

公園施設の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
公園施設	総合運動公園パークゴルフ場東屋	直営		20.25	平成14年	W造
	運動公園ちびっこ広場東屋	直営		9.00	平成16年	W造
	ふれあい広場トイレ	直営		35.00	平成6年	R C造
	明治公園公衆トイレ	直営		17.46	平成18年	W造
	明治公園公衆トイレ	直営		13.50	平成19年	W造
	ときわ台公園公衆トイレ	直営		13.50	平成19年	W造
	鳴海公園公衆トイレ	直営		13.50	平成20年	W造
	根室公園公衆トイレ	直営		11.00	平成18年	W造
	根室運動公園トイレ	直営		39.90	平成11年	R C造
	根室公園バーベキューハウス	直営		29.73	平成21年	S造一部W造
	明治公園バーベキューハウス	直営		61.65	平成21年	S造一部W造
	根室運動公園水道受水施設	直営		56.11	平成13年	R C造
	ふるさと遊びの広場（わんぱーく）	直営		916.30	令和3年	木造

公園施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
公園施設	総合運動公園パークゴルフ場東屋	2	0	-	-		2
	運動公園ちびっこ広場東屋	2	0	-	-		2
	ふれあい広場トイレ	129	0	3,776	34		129
	明治公園公衆トイレ	387	0	60,267	6		387
	明治公園公衆トイレ	101	0	21,207	5		101
	ときわ台公園公衆トイレ	146	0	10,916	13		146
	鳴海公園公衆トイレ	84	0	10,078	8		84
	根室公園公衆トイレ	77	0	5,458	14		77
	根室運動公園トイレ	13	0	56,023	0		13
	根室公園バーベキューハウス	12	0	1,472	8		12
	明治公園バーベキューハウス	4	0	14,850	0		4
	根室運動公園水道受水施設	162	0	-	-		0
	ふるさと遊びの広場（わんぱーく）	36,248	1,000	20,338	1,782	34	36,214
	小 計	37,367	1,000	204,385	1,870	34	37,171
合 計		37,367	1,000	204,385	1,870	34	37,171

施設分類	公園施設										
担当部署	都市整備課・社会体育課				関連計画		公園長寿命化計画 (仮称)ふるさと遊びの広場基本計画				
配置方針	都市計画施設として、総合公園、運動公園、近隣公園などの計画的な配置とし、防災上も避難場所の指定を受けており、現状の配置を維持することが適切であるとする。										
現状と課題	トイレ、バーベキューハウスについては、主な構造部の老朽化にまで至っていないが、良好な施設維持のため、計画的な更新が必要である。受水槽については、設置から年数が経過していることから、水槽の更新の検討が必要である。										
更新時方針	日常・定期点検により維持修繕を実施しながら、主要な構造の劣化の進行度合いを把握し、予防保全型管理を進めると共に、状態監視保全から適切な時期に更新とする。										
実施内容／スケジュール	第1期			第2期			第3期			第4期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
総合運動公園 パークゴルフ場東屋	継続・維持			新築・改築			継続・維持			継続・維持	
総合運動公園 ちびっこ広場東屋	検討・協議			廃止・解体							
ふれあい広場トイレ	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
明治公園公衆トイレ	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
明治公園公衆トイレ	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
ときわ台公園公衆トイレ	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
鳴海公園公衆トイレ	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
根室公園公衆トイレ	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
根室運動公園トイレ	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
根室公園 バーベキューハウス	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
明治公園 バーベキューハウス	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
根室運動公園水道受水施設	継続・維持			検討・協議 大規模改修			継続・維持			継続・維持	
ふるさと遊びの広場（わんぱく）	新築・改築			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
総合運動公園 パークゴルフ場東屋										新築・改築	
総合運動公園 ちびっこ広場東屋	廃止・解体										
根室運動公園水道受水施設									検討・協議	大規模改修	
削減目標面積（㎡）	第1期			第2期			第3期			第4期	
				9.00							

2-15 供給・処理施設

供給・処理施設の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
処理施設	じん芥焼却場	直営		2,804.00	昭和56年	S造（一部RS造）
	資源再生センター	直営		924.12	平成15年	RS造
	ごみ埋立処理場管理棟ほか	直営		2,235.00	平成10年	RS造等
	汚水処理場	直営		1,435.80	昭和51年	S造（一部RS造）
農業用水施設	根室1号ポンプ場	直営		169.64	昭和53年	RC造/RCブロック造
	根室1号ポンプ場（増築）	直営		36.34	平成12年	RC造/RCブロック造
	根室1号配水池	直営		422.05	昭和53年	RC造/RCブロック造
	根室2号配水池	直営		294.54	昭和54年	RC造/RCブロック造
	根室西和田量水器室	直営		12.00	昭和55年	RC造/RCブロック造
	根室湖南量水器室	直営		12.00	昭和53年	RC造/RCブロック造

供給・処理施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
処理施設	じん芥焼却場	180,626	1,977	—	—		180,626
	資源再生センター	55,993	497	—	—		55,993
	ごみ埋立処理場管理棟ほか	73,436	1,939	—	—		73,436
	汚水処理場	22,534	4,015	10	2,253,400	3,222	19,312
	小 計	332,589	8,428	10	2,253,400	3,222	329,367
農業用水施設	根室1号ポンプ場	13,983	0	—	—	15,291	-1,308
	根室1号ポンプ場（増築）	13,983				15,291	-1,308
	根室1号配水池	13,983	0	—	—	15,291	-1,308
	根室2号配水池	13,983	0	—	—	15,291	-1,308
	根室西和田量水器室	13,983	0	—	—	15,291	-1,308
	根室湖南量水器室	13,983	0	—	—	15,291	-1,308
	小 計	83,898	0	0	0	91,746	-7,848
	合 計	416,487	8,428	10	2,253,400	94,968	321,519

施設分類	処理施設		
担当部署	市民環境課・水産振興課	関連計画	衛生施設個別計画 水産物産地流通加工センター汚水処理場整備方針
配置方針	【じん芥焼却場】 新施設の配置にあたっては、土砂災害や地すべりの恐れがないこと及び津波の浸水想定区域ではないこと等の安全面や、ごみ処理に必要な処理水が確保出来る等の経済性、類似施設との連携が図られ効率的なごみ処理が可能であること等を総合的に判断して建設予定地を選定する。 なお、建設予定地周辺の生活環境の保全対策については、万全を期すものとする。 【資源再生センター】 資源再生センターの配置については、効率的なリサイクルを推進する上で、ごみ埋立処理場やじん芥焼却場等の廃棄物処理施設に隣接することが望ましい。 【ごみ埋立処理場管理棟ほか】 一般廃棄物最終処分場は本施設のみであり、また、ごみ処理施設という性質上、更新時についても現在地の隣接地域に単独配置することが望ましい。 【汚水処理場】 水質汚濁防止法の規定に準拠した施設であり、必要不可欠な施設であることから、従来どおりの稼働を継続するとともに、汚水処理施設の計画的な修繕・更新に努め、できる限り施設の延命化を図る。		
現状と課題	【じん芥焼却場】 施設の老朽化に伴い処理能力が低下しており、焼却炉維持補修費が増嵩している状況であるが、現在整備を進めている新施設の供用開始までは、適切な維持補修により現施設を維持する必要がある。 【資源再生センター】 リサイクル意識の高まりにより、搬入される資源ごみが増大し、作業スペースが狭隘化してきている。 また、プラスチック資源循環法の施行により、現在可燃ごみとして処分している製品プラスチックの再資源化（資源ごみ）への移行が求められることから、現存の作業ヤードでは対応出来ないことも考えられ、新たな作業ヤードの整備も含めて検討が必要である。 【ごみ埋立処理場管理棟ほか】 現施設の更なる延命化を進めるため、ごみの減量化対策の推進が必要。 【汚水処理場】 近年の漁業状況等から施設の稼働率も低下しており、また、施設設置から40年以上が経過しているため、建物・機器類等が老朽化し、計画的な設備の修繕・更新を施さなければ施設の機能は維持できない状況となっている。		
更新時方針	【じん芥焼却場】 廃棄物処理施設基本構想に基づき、地域や関係部署との調整を行い、立地や規模について協議のうえ、整備を進める。 【資源再生センター】 効率的なリサイクルを推進する上で、ごみ埋立処理場やじん芥焼却場等の廃棄物処理施設に隣接することが望ましいため、廃棄物処理施設等の次期更新時に併せて資源再生センターの移転等を含めて検討する。		

	【ごみ埋立処理場管理棟ほか】 今後見込まれる埋立容量や水処理施設の処理能力を精査し、過大な施設とならないよう新施設の計画的な整備を行う。 【汚水処理場】 令和3年7月に策定した、「根室市水産物産地流通加工センター汚水処理場整備方針」に基づき、老朽化した汚水処理施設の計画的な修繕・更新に取り組み、施設の延命化を図り、令和13年度を目途に大規模改修の有無の検討を行う。									
	実施内容／スケジュール		第1期		第2期		第3期		第4期	
			H29～R6		R7～R16		R17～R26		R27～R36	
じん芥焼却場	検討・協議		新築・改築		継続・維持		継続・維持		継続・維持	
資源再生センター	検討・協議		新築・改築		継続・維持		継続・維持		継続・維持	
ごみ埋立処理場・管理棟ほか	検討・協議		新築・改築		継続・維持		継続・維持		継続・維持	
汚水処理場	継続・維持		検討・協議		継続・維持		継続・維持		継続・維持	
第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
じん芥焼却場	新築・改築	新築・改築	新築・改築							
資源再生センター		新築・改築								
ごみ埋立処理場・管理棟ほか				新築・改築	新築・改築					
汚水処理場							検討・協議			
削減目標面積（㎡）	第1期		第2期		第3期		第4期			

施設分類	農業用水施設										
担当部署	水道課			関連計画							
配置方針	立地条件等から、現状の配置が適切と考える。										
現状と課題	3 施設が昭和 53～54 年に建設されており、昭和 25 年の耐震基準を満たしているが、昭和 56 年の耐震基準を満たしていない状況にある。毎年度の保守点検に応じて、必要な個所を修繕により施設の継続・維持をしている状況。										
更新時方針	現状の施設機能を維持するため修繕・改修等により施設の延命化に努めながら、農業用水施設であるポンプ場及び配水池について庁内で施設のあり方等の検討や協議、財源を含めた情報収集ならびに調査研究を継続する。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
根室 1 号ポンプ場	継続・維持			継続・維持 検討・協議 耐震改修			継続・維持			継続・維持	
根室 1 号ポンプ場 (増築)	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
根室 1 号配水池	継続・維持			継続・維持 検討・協議 耐震改修			継続・維持			継続・維持	
根室 2 号配水池	継続・維持			継続・維持 検討・協議 耐震改修			継続・維持			継続・維持	
根室西和田量水器室	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
根室湖南量水器室	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
根室 1 号ポンプ場	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	耐震改修	
根室 1 号配水池	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	耐震改修	
根室 2 号配水池	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	耐震改修	
削減目標面積 (㎡)	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

2-16 移住体験住宅

移住体験住宅の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
移住体験住宅	光洋町移住体験住宅1号	直営		59.40	昭和53年	B造
	光洋町移住体験住宅2号、3号	直営		99.18	昭和46年	B造
	瑤瑤瑤移住体験住宅1号、2号	直営		146.62	平成8年	W造

移住体験住宅の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
移住体験住宅	光洋町移住体験住宅1号	353	37	8	44,125	288	65
	光洋町移住体験住宅2号、3号	611	68	10	61,100	454	157
	瑤瑤瑤移住体験住宅1号、2号	441	0	7	63,000	400	41
	小 計	1,405	105	25	168,225	1,142	263
	合 計	1,405	105	25	168,225	1,142	263

施設分類	移住体験住宅										
担当部署	総合政策室				関連計画						
配置方針	根室市への移住を体験する施設であることから、さまざまな生活環境での配置が適当であるため、現在の東部地区（２戸）、市街地区（３戸）は適正な配置であると考えている。										
現状と課題	既存住宅施設（旧教員住宅）を改修（H25 年 2 月）し設置していることから、当面は維持補修により対応が可能と考えているが、既に耐用年数を超過しているため、小中学校適正配置計画に関連した教職員住宅の環境整備を考慮しながら、施設の在り方について検討する必要がある。										
更新時方針	移住政策の方針に沿って本施設のあり方を検討するものであるが、将来的には、建替を含め、民間施設の借上も選択肢として、様々な形態を広く検討し、時代のニーズに合った施設配置に努める。										
実施内容／ スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
光洋町移住体験 住宅 1 号	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
光洋町移住体験 住宅 2 号、3 号	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
瑤瑤瑯移住体験 住宅 1 号、2 号	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

2-17 その他施設

その他施設の一覧

分類	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
その他施設	旧共和小学校	直営		2,402.00	昭和39年	校舎R C造/屋体S造
	旧瑠璃瑠小学校	直営		2,530.00	昭和40年	校舎R C造/屋体S造
	旧温根元小学校	直営		1,152.00	昭和37年	校舎C B造/屋体S造
	旧昆布盛小学校	直営		1,116.00	昭和46年	校舎R C造/屋体S造
	旧花咲小学校(放課後教室・給食共同調理場含む)	直営		7,888.00	昭和49年	校舎R C造/屋体S造/調理場S造
	旧花咲港会館	直営		1,011.02	昭和53年	W造(一部S造)
	旧川上小児科医院	直営		701.47	昭和60年	R C造(一部S造)
	厚床バス待合所	直営		133.25	平成元年	W造
	厚床診療所	直営		207.43	昭和50年	W造
	旧職員住宅	直営		72.72	昭和36年	W造
	旧駒場児童館	直営		285.89	昭和53年	W造
	旧光洋児童館	直営		317.52	昭和46年	W造
	手作りの村運動広場管理棟	直営		22.28	平成4年	W造
	白鳥救護施設	直営		13.25	昭和61年	W造
	納沙布公衆トイレ	直営		80.80	平成4年	R C造
	花咲港車石トイレ	直営		38.50	平成7年	R C造
	旧こよう保育所	直営		581.58	昭和47年	W造
	物品庫(旧やよい保育所)	直営		481.14	昭和42年	W造
	物品庫(旧実習場)	直営		357.00	昭和47年	W造
	西浜町公用車車庫	直営		92.94	平成8年	S造
	旧消防本部車庫	直営		404.74	昭和63年	S造
	根室港埠頭保安施設監視室	直営		9.93	平成16年	W造
	花咲テレビジョン中継局舎	直営		6.83	平成2年	C B造
	デジタル防災行政無線花咲港中継局	直営		14.90	令和4年	S造

その他施設の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
その他施設	旧共和小学校	51	0	-	-		51
	旧瑠瑠小学校	69	0	-	-		69
	旧温根元小学校	124	0	-	-		124
	旧昆布盛小学校	486	262	-	-		486
	旧花咲小学校	45		-	-		45
	旧花咲港会館	-	-	-	-		-
	旧川上小児科医院	0	0	-	-		0
	厚床バス待合所	1,548	0	-	-	212	1,336
	厚床診療所	7	0	-	-		7
	旧職員住宅	2	0	-	-		2
	旧駒場児童館	245	0	-	-		245
	旧光洋児童館	40	0	-	-		40
	手作りの村運動広場管理棟	1,315	79	1,823	721	77	1,238
	白鳥救護施設	1	0	-	-		1
	納沙布公衆トイレ	1,761	102	-	-		1,761
	花咲港車石トイレ	1,586	309	-	-		1,586
	旧こよう保育所	26	0	2,559	10		26
	物品庫（旧やよい保育所）	26	0	-	-		26
	物品庫（旧実習場）	13	0	-	-		13
	西浜町公用車車庫	1	0	-	-		1
	旧消防本部車庫	66	0	-	-		66
	根室港埠頭保安施設監視室	1	0	-	-		0
	花咲テレビジョン中継局舎	638	0	-	-		638
	デジタル防災行政無線花咲港中継局	0	0	-	-		0
	小 計	8,062	752	4,382	731	289	7,772
	合 計	8,062	752	4,382	731	289	7,772

施設分類	その他施設			
担当部署	関係各課	関連計画		
配置方針	統一された行政目的を持つ施設群ではないため、全体的な配置方針はないが、必要に応じ、統廃合を検討する。			
現状と課題	現在利用が無く老朽化の進んでいる施設について、計画的に解体撤去を進めるほか、利用されているものについては、維持補修で対応。			
更新時方針	今後も維持が必要と判断した施設において、当面、大規模な改修を必要とするものはないが、厚床バス待合所や通信系施設等は、設置場所が限定されるため、将来的にも同地での更新が必要となる。			
実施内容／スケジュール	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
	H29～R6	R7～R16	R17～R26	R27～R36
旧柏陵中学校	廃止・解体			
旧共和小学校	検討・協議	検討・協議	廃止・解体	
旧瑤瑤瑤小学校	検討・協議	検討・協議	廃止・解体	
旧温根元小学校	検討・協議	検討・協議	廃止・解体	
旧昆布盛小学校	検討・協議	検討・協議	廃止・解体	
旧花咲小学校	廃止・解体			
旧川上小児科医院	大規模改修	継続・維持	継続・維持	継続・維持
厚床バス待合所	継続・維持	検討・協議	大規模改修	継続・維持
旧厚床診療所	検討・協議	廃止・解体		
旧職員住宅	継続・維持	検討・協議	廃止・解体	
旧駒場児童館	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
旧光洋児童館	検討・協議	検討・協議	廃止・解体	
手作りの村運動広場管理棟	継続・維持	継続・維持	検討・協議	廃止・解体
白鳥救護施設	検討・協議	廃止・解体		
納沙布公衆トイレ	継続・維持	継続・維持	検討・協議	大規模改修
花咲港車石トイレ	継続・維持	検討・協議	大規模改修	継続・維持
放課後等デイサービス (旧こよう保育所)	検討・協議	検討・協議	移転・複合化	廃止・解体
物品庫 (旧やよい保育所)	検討・協議	廃止・解体		
物品庫(旧実習場)	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
西浜町公用車車庫	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
旧消防本部車庫	継続・維持	検討・協議	新築・改築	継続・維持
根室港埠頭保安 施設監視室	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
花咲テレビジョン中継局 舎	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
デジタル防災行政無線 花咲港中継局舎	新築・改築	継続・維持	継続・維持	継続・維持

第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
旧厚床診療所										廃止・解体
白鳥救護施設				廃止・解体						
物品庫（旧やよい保育所）	廃止・解体									
削減目標面積（㎡）	第1期		第2期			第3期			第4期	
	13,460.00		701.82			7,590.24			603.86	

2-18 病院関連施設(病院会計)

病院関連施設(病院会計)の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
病院関連施設	市立根室病院	直営		13,281.00	平成24年	R S造
	公宅 3	直営		88.02	平成4年	W造
	公宅 4	直営		83.43	平成3年	W造
	公宅 8	直営		88.02	平成4年	W造
	公宅 1 9	直営		83.43	平成3年	W造

病院関連施設(病院会計)の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (戸)	利用者一人 当たりの経費 (円/人・戸)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
病院関連施設	市立根室病院	129,717	8,984	-	-	2,046	127,671
	公宅 3	0	0	1	0		0
	公宅 4	100	0	1	100,000	36	64
	公宅 8	0	0	1	0	37	△ 37
	公宅 1 9	0	0	1	0	36	△ 36
	小 計	129,817	8,984	4	100,000	2,155	127,662
	合 計	129,817	8,984	4	100,000	2,155	127,662

施設分類	病院関連施設										
担当部署	病院事務局企画管理課				関連計画						
配置方針	利用者の利便性や、駐車場を含む敷地確保等の点から、現状の配置が適切であるとする。										
現状と課題	病院は建設年次が比較的新しいことから、現時点で建物本体に大規模な改修等が必要な箇所はない状況であるが、今後、空調等の一部設備においては、状況に応じて改修等の検討が必要となる。 医師公宅については、必要に応じて維持補修で対応しているが、老朽化の著しいものについては、解体や大規模修繕等を検討する必要がある。										
更新時方針	病院については、空調等一部設備について、状況に応じた更新が必要となることを除き、現時点では、当面、大規模な改修等はない状況であるが、公宅については、老朽化の状況に応じて解体・改修等を検討するほか、減少した戸数については、今後、賃貸借等により対応することとし、新規の建設は考えていない。										
実施内容／スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
市立根室病院	継続・維持			検討・協議			大規模改修			継続・維持	
公宅 3	検討・協議			検討・協議			継続・維持			継続・維持	
公宅 4	継続・維持			検討・協議			継続・維持			継続・維持	
公宅 8	継続・維持			検討・協議			継続・維持			継続・維持	
公宅 19	継続・維持			検討・協議			継続・維持			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

2-19 上水道施設(水道会計)

上水道施設(水道会計)の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
上水道施設	桂木浄水場	直営		5328.25	昭和32年	R S造
	牧の内ポンプ場	直営		267.15	平成8年	S造
	三番川ポンプ場	直営		531.33	平成25年	R S造
	五番川ポンプ場	直営		151.08	昭和46年	R S造
	落石配水池ポンプ場	直営		141.27	平成20年	R S造
	温根元配水池ポンプ場	直営		181.53	平成24年	R S造
	友知加圧ポンプ室	直営		44.27	平成5年	R S造
	納沙布加圧ポンプ室	直営		132.56	平成1年	R S造
	牧の内流量計室	直営		11.69	昭和52年	R S造
	旧三番川ポンプ場	直営		192.00	昭和46年	R S造
	温根元浄水場	直営		412.8	昭和46年	R S造
	落石浄水場	直営		297.50	昭和41年	C B造
	歯舞浄水場	直営		273.98	昭和34年	W造
	厚床浄水場	直営		42	昭和44年	W造

上水道施設(水道会計)の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
上水道施設	桂木浄水場	32,120	17,600	-	-		32,120
	牧の内ポンプ場	14,520	0	-	-		14,520
	三番川ポンプ場	14,520	0	-	-		14,520
	五番川ポンプ場	14,520	0	-	-		14,520
	落石配水池ポンプ場	14,520	0	-	-		14,520
	温根元配水池ポンプ場	14,520	0	-	-		14,520
	友知加圧ポンプ室	14,520	0	-	-		14,520
	納沙布加圧ポンプ室	14,520	0	-	-		14,520
	牧の内流量計室	23	0	-	-		23
	旧三番川ポンプ場	0	0	-	-		0
	温根元浄水場	0	0	-	-		0
	落石浄水場	0	-	-	-		0
	歯舞浄水場	0	-	-	-		0
	厚床浄水場	0	-	-	-		0
	小 計	133,783	17,600	0	0	0	133,783
	合 計	133,783	17,600	0	0	0	133,783

施設分類	上水道施設			
担当部署	水道課	関連計画	根室市水道ビジョン・根室市水道事業経営戦略・根室市水道施設耐震化計画ビジョン	
配置方針	厳しい財源状況において、水道施設の更新等を行っていかねばならない状況にあることから、需要水量に見合った施設更新や、基幹施設・管路の耐震化を検討する。			
現状と課題	給水人口の減少に加え節水意識の向上により、水需要の増加が見込まれない中、老朽化しつつある施設の更新や災害などの緊急時に備えた基幹施設の耐震性強化が必要な状況にあり、経営健全化に向けた更なる運営基盤の強化が求められている。水道資産においても、老朽資産を増やさないために計画的な更新が必要であり、適切なアセットマネジメント（資産管理）により、施設の重要度を勘案して施設の延命化や、更新時期の平準化などに努める必要がある。			
更新時方針	桂木浄水場においては、「根室市水道施設耐震化計画」に基づき、効果的かつ効果的な耐震化等の整備を進める。他の稼働施設においても安定した水の供給を継続していくために施設の延命化に努めながら、現状の施設機能を維持、施設のあり方等の検討・協議を進めていく。			
実施内容／スケジュール	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
	H29～R6	R7～R16	R17～R26	R27～R36
桂木浄水場	継続・維持 検討・協議	継続・維持 耐震改修	継続・維持	継続・維持
牧の内ポンプ場	継続・維持	継続・維持 検討・協議	継続・維持 大規模改修 新築・改築	継続・維持
三番川ポンプ場	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
五番川ポンプ場	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
落石配水池ポンプ場	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
温根元配水池ポンプ場	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
友知加圧ポンプ室	継続・維持	継続・維持	継続・維持 検討・協議	継続・維持 大規模改修 新築・改築
納沙布加圧ポンプ室	継続・維持	継続・維持	継続・維持 検討・協議	継続・維持
牧の内流量計室	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
旧三番川ポンプ場	継続・維持	検討・協議 廃止・解体		
温根元浄水場	継続・維持	検討・協議 廃止・解体		
落石浄水場	継続・維持	検討・協議 廃止・解体		
歯舞浄水場	継続・維持	検討・協議 廃止・解体		
厚床浄水場	継続・維持	検討・協議 廃止・解体		

第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
桂木浄水場	耐震改修	耐震改修	耐震改修	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持	継続・維持
旧三番川ポンプ場	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	廃止・解体
温根元浄水場	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	廃止・解体
落石浄水場	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	廃止・解体
歯舞浄水場	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	廃止・解体
厚床浄水場	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	検討・協議	廃止・解体
削減目標面積 (㎡)	第1期		第2期			第3期			第4期	
			1,218.28							

2-20 下水道施設(下水道会計)

下水道施設(下水道会計)の一覧

分 類	施 設 名 称	運営 主体	複合 施設	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主 要 建物構造
下水道施設	下水終末処理場	直営		8,507.51	昭和57年	R S造
	中央第1中継ポンプ場	直営		392.75	平成1年	R S造
	中央第2中継ポンプ場	直営		1,154.58	昭和60年	R S造
	緑町雨水ポンプ場	直営		116.67	平成4年	R S造

下水道施設(下水道会計)の経費と利用度

分 類	施 設 名 称	施設運営費 (千円)	うち維持補修費 (千円)	利用者数 (人)	利用者一人 当たりの経費 (円/人)	収 入 (千円)	収支差額 (千円)
下水道施設	下水終末処理場	60,118	3,240	-	-		60,118
	中央第1中継ポンプ場	2,168	0	-	-		2,168
	中央第2中継ポンプ場	11,365	0	-	-		11,365
	緑町雨水ポンプ場	291	0	-	-		291
	小 計	73,942	3,240	0	0	0	73,942
	合 計	73,942	3,240	0	0	0	73,942

施設分類	下水道施設										
担当部署	下水道課				関連計画		根室市下水道ストックマネジメント計画				
配置方針	汚水処理施設については、地理的な条件等から、現状の配置が適切であるとする。										
現状と課題	終末処理場は供用開始から 30 年が経過し、設備の老朽化が目立ってきているため、計画的に設備の更新等に対応している。										
更新時方針	各施設設備の状況により、維持補修による機能維持が困難と判断される施設について更新を検討する。										
実施内容／ スケジュール	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	
	H29～R6			R7～R16			R17～R26			R27～R36	
下水終末処理場	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
中央第 1 中継ポンプ場	継続・維持			検討・協議			耐震改修			継続・維持	
中央第 2 中継ポンプ場	継続・維持			継続・維持			継続・維持			継続・維持	
緑町雨水ポンプ場	継続・維持			検討・協議			耐震改修			継続・維持	
第 2 期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
削減目標面積（㎡）	第 1 期			第 2 期			第 3 期			第 4 期	

2-21 インフラ施設

施設分類	インフラ施設（道路）			
担当部署	都市整備課	関連計画	管内舗装修繕計画書	
管理・整備方針	道路整備については、重要性や緊急性、財政状況などを総合的に勘案して実施する。 また、日常的な維持管理としてパトロールを実施するとともに、ライフサイクルコストの縮減のため、予防保全の取り組みを行い、道路利用者の安全確保に努める。			
設置状況（R 4 年度末時点）				
種 別	路線数	実延長（m）	舗装延長（m）	舗装率（％）
1 級幹線	33	53,508	50,462	94.3
2 級幹線	37	57,167	38,999	68.2
その他路線	473	216,345	44,822	20.7
合計	543	327,020	134,283	41.1

施設分類	インフラ施設（橋りょう）		
担当部署	都市整備課	関連計画	橋梁長寿命化修繕計画
管理・整備方針	橋梁については、「橋梁長寿命化修繕計画」(当初 H24 作成)に基づき、今後老朽化が進行する道路橋に対し、定期点検により健全度や損傷の早期把握を行い、従来の事後的な修繕から予防保全的な修繕へと円滑な政策転換を図り、維持費用の縮減を図るとともに、地域の道路網の安全性、信頼性確保に努める。		
管理状況（R 4 年度末時点）			
種 別		橋梁数	
R C（鉄筋コンクリート）橋		1	
P C（プレストス・コンクリート）橋		14	
K C（鋼）橋		6	
B O X（ボックス・カルバート）		9	
合計		30	

施設分類	インフラ施設（下水道管渠）		
担当部署	下水道課	関連計画	根室市下水道ストックマネジメント計画
管理・整備方針	下水道管渠（雨水・汚水）については総延長が約 1 3 9 kmに及び、ライフラインとして重要な幹線に重点を置いた調査が必要となり、調査した結果を基に重要な幹線を中心に優先順位をつけ、順次対応していく。 耐用年数 5 0 年を経過（コンクリート製）した管渠の発生開始に伴い、今後、策定を予定している下水道管渠のストックマネジメント計画により、改築・更新・布設替・修繕等を判断する。		
設置状況（R 4 年度末時点）			
種 別		管路延長	
コンクリート管		105,394 m	
塩ビ管		26,531 m	
更生管		57 m	
鋳鉄管		6,430 m	
その他（P P 等）管		824 m	
合計		139,236 m	

施設分類	インフラ施設（上水道管渠）		
担当部署	水道課	関連計画	根室市水道ビジョン・根室市水道事業経営戦略・根室市水道施設耐震化計画
管理・整備方針	上水道管路の更新にあたっては、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、老朽管路の更新に際しては、より耐久性に優れたものを使用すること等により、長寿命化や耐震化を推進していく。 また、今後の維持更新費用にかかる財源確保の観点から、水道料金体系のあり方等について検討・協議を行い、必要に応じて見直しを行う。		
設置状況（Ｒ４年度末時点）			
種 別		管路延長	
鋳鉄管【ＤＩＰ】		164,238m	
鋳鉄管（耐震継手を有する）【ＳⅡ・ＮＳ・ＧＸ】		58,674m	
配水用ポリエチレン管【ＨＰＰＥ】		1,176m	
鋼管【ＧＰ】		28m	
塩化ビニール管【ＶＰ】		118,855m	
石綿セメント管【ＡＳＰ・ＳＥＰ】		36,487m	
凍結防止用アラミドがい装ポリエチレン管【ＧＮＧＷ】		83m	
ポリエチレン管【ＰＰ】		38,930m	
高密度ポリエチレン管【ＰＥ】		829m	
合計		419,300m	

施設分類	インフラ施設（光ケーブル施設）		
担当部署	情報管理課	関連計画	第2次根室市地域情報化計画
管理・整備方針	施設の設置から5年を経過しており、経年による劣化・損耗が進みつつある。また、事業者が設置している電柱に共架しているものも多く、事業者の都合に併せ、度々共架の移設工事等を実施している状況にある。国の地域情報通信基盤整備推進交付金を利用して整備した設備であり、整備してから10年以上が経過していることから、民間通信事業者への移管を検討中である。		
設置状況（R4年度末時点）			
光ファイバーケーブル		286.730m	
伝送設備収容庫（落石）		23.90㎡	
伝送設備収容庫（厚床）		23.90㎡	

3 施設方向性別一覧

3-1 新築・改築施設

実施内容／ スケジュール	第1期	第2期	第3期	第4期
	H29～R6	R7～R16	R17～R26	R27～R36
落石会館	新築・改築			
厚床会館		新築・改築		
総合文化会館			新築・改築	
図書館			新築・改築	
歴史と自然の資料館			新築・改築	
パークゴルフ場管理棟	新築・改築			
総合体育会館		新築・改築		
水産加工振興センター			新築・改築	
厚床中学校		新築・改築		
歯舞学園(後期課程)			新築・改築	
新学校給食センター		新築・改築		
落石保育所	新築・改築			
厚床保育所			新築・改築	
老人福祉センター		新築・改築		
歯舞診療所		新築・改築		
歯舞歯科診療所		新築・改築		
厚床歯科診療所		新築・改築		
本庁舎	新築・改築			
車庫		新築・改築		
消防本部 (女性専用庁舎)	新築・改築			
厚床消防分遣所				新築・改築
歯舞消防分遣所				新築・改築
落石消防団詰所				新築・改築
消防救急デジタル 無線局舎				新築・改築
消防救急デジタル 無線局舎(歯舞)				新築・改築
消防救急デジタル 無線局舎(落石)				新築・改築

消防機械置場温根沼地区		新築・改築		
消防機械置場浜松地区		新築・改築		
消防機械置場双冲地区		新築・改築		
消防機械置場昆布盛地区		新築・改築		
消防機械置場長節地区		新築・改築		
消防機械置場納沙布地区		新築・改築		
消防機械置場別当賀地区		新築・改築		
消防機械置場瑠瑠瑠地区	新築・改築			
蒼香苑			新築・改築	
光洋団地	新築・改築	新築・改築		
総合運動公園 パークゴルフ場東屋		新築・改築		
ふるさと遊びの広場（わんぱく）	新築・改築			
じん芥焼却場		新築・改築		
資源再生センター		新築・改築		
ごみ埋立処理場・管理棟ほか		新築・改築		
旧消防本部車庫			新築・改築	
デジタル防災行政無線 花咲港中継局舎	新築・改築			
牧の内ポンプ場			大規模改修 新築・改築	
友知加圧ポンプ室				大規模改修 新築・改築

3-2 大規模改修施設

実施内容／ スケジュール	第1期	第2期	第3期	第4期
	H29～R6	R7～R16	R17～R26	R27～R36
別当賀夢原館		耐震改修		
根室1号ポンプ場		耐震改修		
根室1号配水池		耐震改修		
根室2号配水池		耐震改修		
桂木浄水場		耐震改修		
中央第1中継ポンプ場			耐震改修	
緑町雨水ポンプ場			耐震改修	
総合文化会館	大規模改修	大規模改修	新築・改築	
図書館	大規模改修		新築・改築	
歴史と自然の資料館	大規模改修	大規模改修	新築・改築	
和田屯田記念館 (和田屯田兵村の被服庫)		大規模改修		
総合運動公園管理棟			大規模改修	
市営スケートリンクハウス 管理棟			大規模改修	
市営スケートリンクハウス 機械倉庫			大規模改修	
白鳥台センター		大規模改修		
春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター				大規模改修
明治公園野鳥観察舎			大規模改修	
市民の森野鳥観察舎			大規模改修	
納沙布岬野鳥観察舎			大規模改修	
温根元野鳥観察舎			大規模改修	
原生花園東屋			大規模改修	
農業会館				大規模改修
花咲港小学校	大規模改修			
落石小学校	大規模改修			
厚床小学校		大規模改修		
海星学校		大規模改修		
歯舞学園(前期課程)			大規模改修	
はぼまい保育所 (通称名みさき保育園)			大規模改修	
第2老人福祉センター			大規模改修	

福祉交流館			大規模改修	
根室国後間海底電 信線陸揚施設		大規模改修		
宝林団地	大規模改修			
光洋団地	大規模改修	大規模改修		
望洋団地	大規模改修	大規模改修		
根室運動公園 水道受水施設		大規模改修		
污水处理場		大規模改修		
光洋町移住体験 住宅 1 号			大規模改修	
光洋町移住体験 住宅 2 号、3 号			大規模改修	
瑛瑤瑁移住体験 住宅 1 号、2 号			大規模改修	
旧川上小児科医院	大規模改修			
厚床バス待合所			大規模改修	
納沙布公衆トイレ				大規模改修
花咲港車石トイレ			大規模改修	
市立根室病院			大規模改修	
公宅 3			大規模改修	
公宅 4			大規模改修	
公宅 8			大規模改修	
公宅 19			大規模改修	
牧の内ポンプ場			大規模改修 新築・改築	
友知加圧ポンプ室				大規模改修 新築・改築

3-3 移転・複合化施設

実施内容／ スケジュール	第1期	第2期	第3期	第4期
	H29～R6	R7～R16	R17～R26	R27～R36
花咲港会館	移転・複合化			
青少年センター		移転・複合化		
屋内相撲場		移転・複合化		
温水プール		移転・複合化		
武徳殿		移転・複合化		
北斗小学校		移転・複合化		
花咲小学校	移転・複合化	移転・複合化		
成央小学校		移転・複合化		
光洋中学校		移転・複合化		
柏陵中学校	移転・複合化	移転・複合化		
落石中学校	移転・複合化			
こまば保育所			移転・複合化	
児童デイサービスセンター	移転・複合化			
福祉会館			移転・複合化	
花咲港消防分遣所	移転・複合化			
消防機械置場友知地区	移転・複合化			
消防機械置場温根元地区	移転・複合化			
消防機械置場幌茂尻地区	移転・複合化			
放課後等デイサービス (旧こうよう保育所)			移転・複合化	

3-4 廃止・解体施設

実施内容／ スケジュール	第1期	第2期	第3期	第4期
	H29～R6	R7～R16	R17～R26	R27～R36
初田牛会館			廃止・解体	
和田会館				廃止・解体
落石会館	廃止・解体			
花咲港会館	廃止・解体			
厚床会館		廃止・解体		
青少年センター		廃止・解体		
屋内相撲場		廃止・解体		
温水プール		廃止・解体		
武徳殿		廃止・解体		
パークゴルフ場ユニットハウス	廃止・解体			
落石中学校	廃止・解体			
厚床中学校		廃止・解体		
北斗共同調理場		廃止・解体		
成央共同調理場		廃止・解体		
光洋共同調理場		廃止・解体		
教員住宅	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体
こまば保育所				廃止・解体
老人福祉センター		廃止・解体		
児童デイサービスセンター		廃止・解体		
福祉会館				廃止・解体
本庁舎	廃止・解体			
車庫	廃止・解体			
現業詰所及び物品庫	廃止・解体			
車庫兼書庫	廃止・解体			
物品庫	廃止・解体			
環境センター			廃止・解体	
光洋団地		廃止・解体		
西浜団地			廃止・解体	
花園団地			廃止・解体	
厚床団地		廃止・解体		
歯舞団地		廃止・解体		
総合運動公園 ちびっこ広場東屋		廃止・解体		
旧柏陵中学校	廃止・解体			

旧共和小学校			廃止・解体	
旧瑠瑠小学校			廃止・解体	
旧温根元小学校			廃止・解体	
旧昆布盛小学校			廃止・解体	
旧花咲小学校	廃止・解体			
旧厚床診療所		廃止・解体		
旧職員住宅			廃止・解体	
旧光洋児童館			廃止・解体	
手作りの村運動広場管理棟				廃止・解体
白鳥救護施設		廃止・解体		
放課後等デイサービス (旧こよう保育所)				廃止・解体
物品庫(旧やよい保育所)		廃止・解体		
旧三番川ポンプ場		廃止・解体		
温根元浄水場		廃止・解体		
落石浄水場		廃止・解体		
齒舞浄水場		廃止・解体		
厚床浄水場		廃止・解体		
削減目標面積	33,774.61	17,135.97	7,866.00	2,043.05
削減目標面積合計	60,819.63 (削減率 26.64%)			

4 第2期対象施設一覧

4-1 第2期スケジュール

第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
厚床会館		新築・改築	廃止・解体							
総合文化会館	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修	大規模改修
歴史と自然の資料館	大規模改修	大規模改修								
和田屯田記念館 (和田屯田兵村の被服庫)	大規模改修									
青少年センター			移転・複合化	廃止・解体						
屋内相撲場			移転・複合化	廃止・解体						
温水プール			移転・複合化	廃止・解体						
武徳殿			移転・複合化	廃止・解体						
総合体育会館			新築・改築							
白鳥台センター									大規模改修	大規模改修
別当賀夢原館										耐震改修
北斗小学校			移転・複合化	移転・複合化						
花咲小学校						移転・複合化	移転・複合化			
成央小学校						移転・複合化	移転・複合化			
厚床小学校	大規模改修									
光洋中学校						移転・複合化	移転・複合化			
柏陵中学校			移転・複合化	移転・複合化						
厚床中学校	新築・改築	廃止・解体								
海星学校							大規模改修			
北斗共同調理場		廃止・解体								
成央共同調理場		廃止・解体								
光洋共同調理場		廃止・解体								
新学校給食センター	検討・協議									
教員住宅	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体	廃止・解体						
老人福祉センター	新築・改築	新築・改築	廃止・解体							
児童デイサービスセンター	廃止・解体									
歯舞診療所										新築・改築
歯舞歯科診療所										新築・改築
厚床歯科診療所										新築・改築
車庫	新築・改築									

第2期スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
消防機械置場温根沼地区			新築・改築							
消防機械置場浜松地区				新築・改築						
消防機械置場双沖地区							新築・改築			
消防機械置場昆布盛地区						新築・改築				
消防機械置場長節地区	新築・改築									
消防機械置場納沙布地区					新築・改築					
消防機械置場別当賀地区		新築・改築								
根室国後間海底電 信線陸揚施設			大規模改修							
光洋団地	大規模改修 廃止・解体	新築・改築 廃止・解体	大規模改修 廃止・解体	新築・改築 廃止・解体	大規模改修 廃止・解体	新築・改築 廃止・解体	大規模改修 廃止・解体			
望洋団地	大規模改修									
厚床団地			廃止・解体							
歯舞団地			廃止・解体							
総合運動公園 パークゴルフ場東屋										新築・改築
総合運動公園 ちびっこ広場東屋	廃止・解体									
根室運動公園 水道受水施設										大規模改修
じん芥焼却場	新築・改築	新築・改築	新築・改築							
資源再生センター		新築・改築								
ごみ埋立処理場・管理棟ほか				新築・改築	新築・改築					
根室1号ポンプ場										耐震改修
根室1号配水池										耐震改修
根室2号配水池										耐震改修
旧厚床診療所										廃止・解体
白鳥救護施設				廃止・解体						
物品庫(旧やよい保育所)	廃止・解体									
桂木浄水場	耐震改修	耐震改修	耐震改修							
旧三番川ポンプ場										廃止・解体
温根元浄水場										廃止・解体
落石浄水場										廃止・解体
歯舞浄水場										廃止・解体
厚床浄水場										廃止・解体

4-2 検討結果一覧(第2期)

No.	施 設 名	方 向 性	説 明
1	厚床会館	改築	施設の老朽化に伴い、早期に改築を実施する。
2	総合文化会館	大規模改修	施設機能維持及び長寿命化のため、第2期に大規模改修を実施する。
3	歴史と自然の資料館	大規模改修	歴史的建造物としての保存が必要なことから、施設機能維持及び施設長寿命化のため改修を実施する。
4	和田屯田記念館 (和田屯田兵村の被服庫)	大規模改修	
5	青少年センター	移転・複合化	老朽化により、集約・複合化も含め新総合体育会館建設に向け検討中。
6	屋内相撲場	移転・複合化	
7	温水プール	移転・複合化	
8	武徳殿	移転・複合化	
9	総合体育会館	新築	関連施設の老朽化、また、狭隘であることや耐震性等の面から、現在、新施設の建設に向け検討中。
10	白鳥台センター	大規模改修	施設の長寿命化を図るため、第2期後期に大規模改修を実施する。
11	別当賀夢原館	耐震改修	他の教育施設の耐震化の進捗状況を勘案し、第2期後期を目途に耐震改修を実施する。
12	北斗小学校	移転・集約化	「根室市立小中学校適正配置計画」に基づき、地域間協議を推進し、学校規模の適正化を図るとともに、維持される施設については、計画的な整備を進める。
13	花咲小学校	移転・集約化	
14	成央小学校	移転・集約化	
15	厚床小学校	大規模改修	
16	光洋中学校	移転・集約化	
17	柏陵中学校	集約化	
18	厚床中学校	新築・解体	
19	海星学校	大規模改修	学校給食共同調理場の効率的な整備に向け、計画的に施設の集約化を進める。
20	北斗共同調理場	廃止	
21	成央共同調理場	廃止	
22	光洋共同調理場	廃止	
23	新学校給食センター	新築	利用状況及び施設の老朽化等により、順次、廃止・解体を進めるとともに、民間借上げを含めた検討を行う。
24	教員住宅	廃止・解体	
25	老人福祉センター	新築	施設の老朽化に伴い、第2期前期を目途に施設の新築を実施する。
26	児童デイサービスセンター	廃止・解体	新施設の稼働に伴い、用途廃止し、解体を検討する。

No.	施 設 名	方 向 性	説 明
2 7	歯舞診療所	改築	施設の老朽化に伴い、第 2 期後期の改築に向けた検討を行う。
2 8	歯舞歯科診療所	改築	
2 9	厚床歯科診療所	改築	
3 0	車庫	新築	本庁舎の整備に合わせ、令和 6 年度に解体し、令和 7 年度に建替えを行う。
3 1	消防機械置場温根沼地区	改築	各機械置場について、老朽化の状況により、順次建替えを実施する。
3 2	消防機械置場浜松地区	改築	
3 3	消防機械置場双沖地区	改築	
3 4	消防機械置場昆布盛地区	改築	
3 5	消防機械置場長節地区	改築	
3 6	消防機械置場納沙布地区	改築	
3 7	消防機械置場別当賀地区	改築	
3 8	根室国後間海底電信線陸揚施設	大規模改修	建物の保護のため、第 2 期中に覆い屋で覆うなどの対策を実施する。
3 9	光洋団地	新築・改築 大規模改修 廃止・解体	市営住宅長寿命化計画に基づき、計画的な整備を推進する。
4 0	望洋団地	大規模改修	
4 1	厚床団地	廃止・解体	
4 2	望洋団地	廃止・解体	
4 3	総合運動公園 パークゴルフ場東屋	改築	施設の老朽化により、第 2 期後期を目途に施設の改築を実施する。
4 4	総合運動公園 ちびっこ広場東屋	廃止・解体	ちびっこ広場の整備のため、第 2 期前期に解体を実施する。
4 5	根室運動公園水道受水施設	大規模改修	施設の老朽化により、第 2 期後期に改修を実施する。
4 6	じん芥焼却場	改築	廃棄物処理施設基本構想に基づき、地域や関係部署との調整を行い、立地や規模について協議のうえ、整備を進める。
4 7	資源再生センター	改築	
4 8	ごみ埋立処理場・管理棟ほか	改築	新施設の計画的な整備を行う。
4 9	根室 1 号ポンプ場	耐震改修	第 2 期末を目途に、耐震改修の有無の検討・協議を行う。
5 0	根室 1 号配水池	耐震改修	
5 1	根室 2 号配水池	耐震改修	
5 2	旧厚床診療所	廃止・解体	現在、廃止施設であり、老朽化も進んでいることから、厚床会館改築後に解体を実施する。

No.	施 設 名	方 向 性	説 明
5 3	白鳥救護施設	廃止・解体	現在、道において救護活動を行っていることから、解体を実施する。
5 4	物品庫(旧やよい保育所)	廃止・解体	収納物品の整理等により、第 2 期前期を目途に、廃止・解体に向け検討を行う。
5 5	旧三番川ポンプ場	廃止・解体	現在、廃止施設であり、老朽化も進んでいることから、第 2 期中に、解体に向け検討を行う。
5 6	温根元浄水場	廃止・解体	
5 7	落石浄水場	廃止・解体	
5 8	歯舞浄水場	廃止・解体	
5 9	厚床浄水場	廃止・解体	

根室市公共施設等総合管理計画 == 個別計画 ==

平成 29 年（2017 年） 3 月 策定

令和 6 年（2024 年） 1 月 改訂

根室市総務部財政課

TEL : 0153-23-6111 FAX : 0153-24-8692